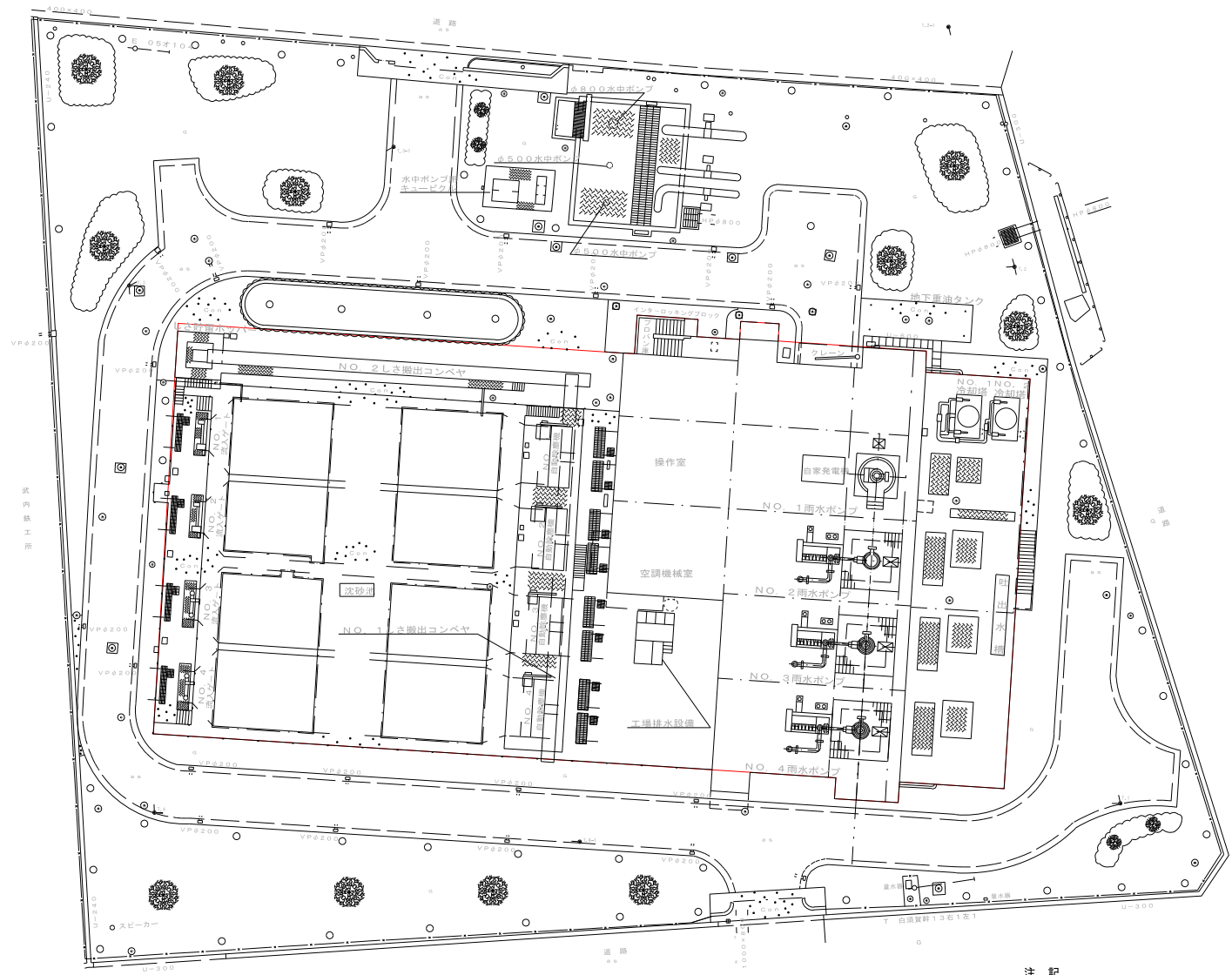
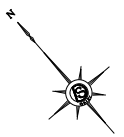


白須賀ポンプ場一般平面図

S=1:200

四日市市白須賀三丁目地内

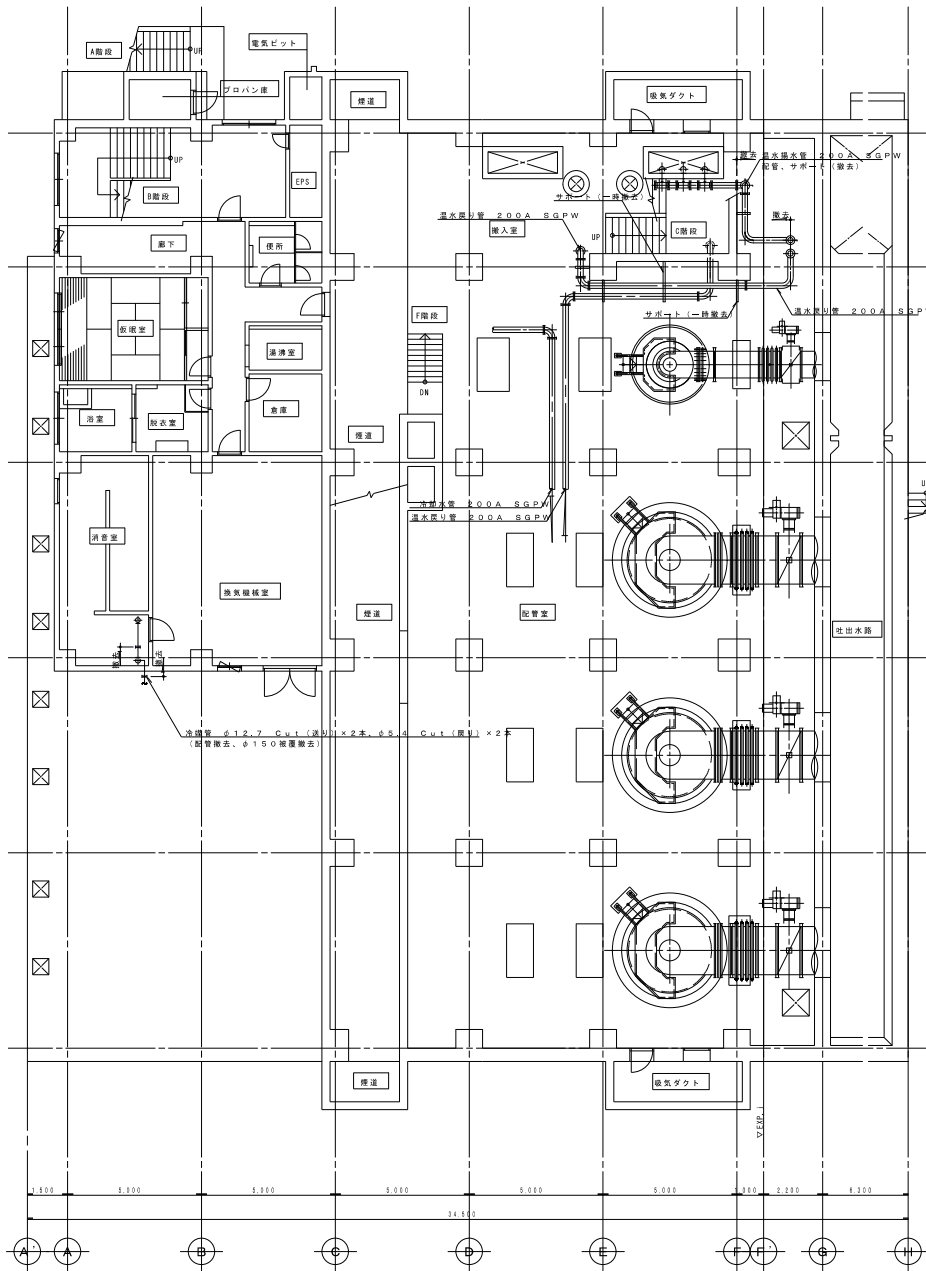


凡 例

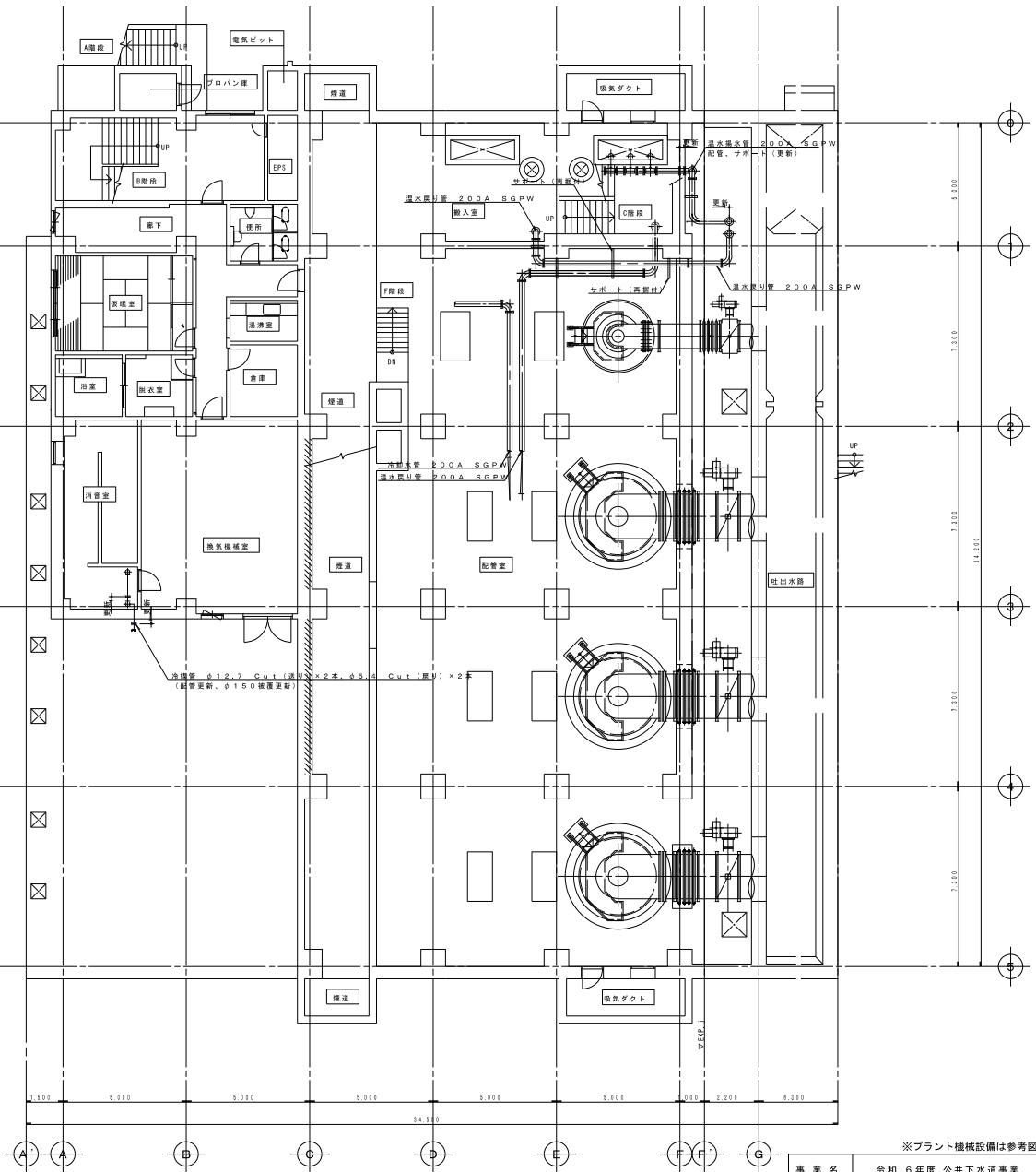
Ⓐ	マンホール
Ⓑ	仕 切 井
Ⓒ	マンホール (下水)
Ⓓ	マンホール (電気)
Ⓔ	バル ブ
Ⓕ	照 明 灯
○	庭 園
G	グランド
a s	アスファルト
c o n	コンクリート

注 記
は主な今回対象範囲を示す。

事業名	令和 6 年度 公共下水道事業		
工事名	白須賀ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市 白須賀三丁目 地内		
名 称	一般平面図		
縮 尺	1/200	設計年月日	令和 5 年 3 月
工 種	機 械	設 計 者	株式会社 日新技術コンサルタント
事業主体	四日市市	図面番号	P M - 1



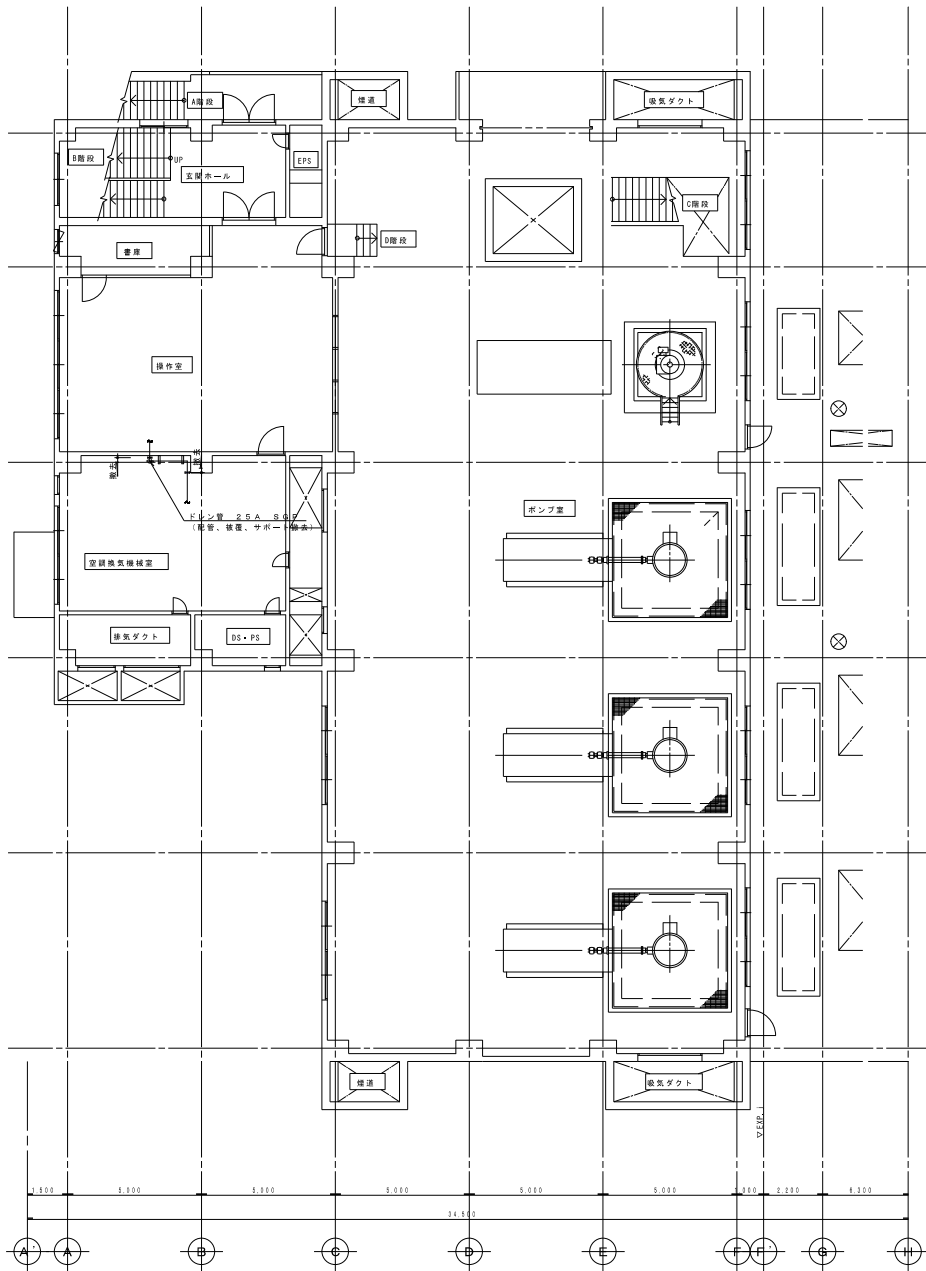
(改修前) 1F 平面図 S=1/100



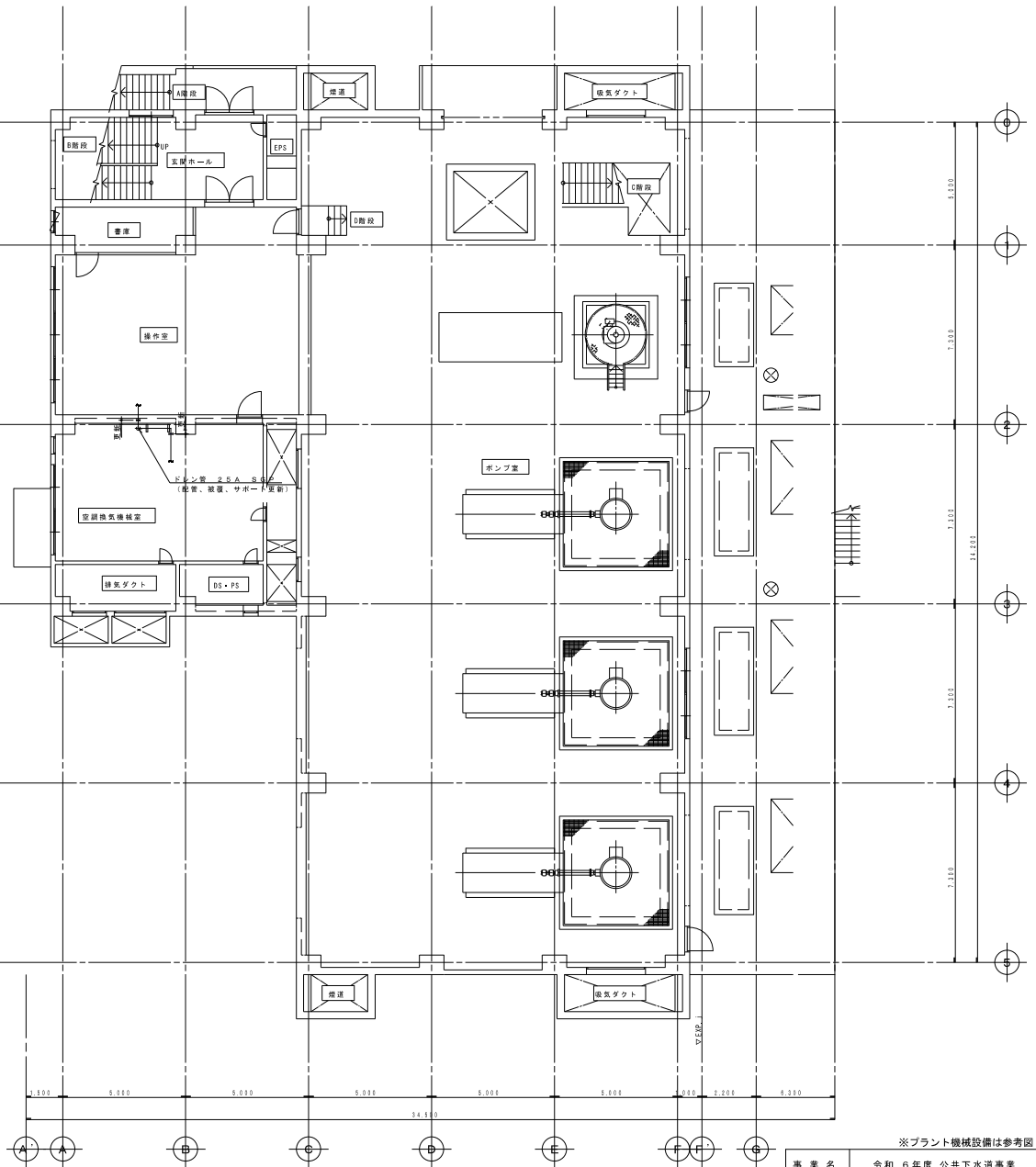
(改修後) 1F 平面図 S=1/100

※プラント機械設備は参考図

事業名	令和 6 年度 公共下水道事業		
工事名	白須賀ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市 白須賀三丁目 地内		
名称	改修前後 1 階平面図		
縮尺	1/100	設計年月日	令和 5 年 3 月
工種	設計者	株式会社	建設技術コンサルタント
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	PM-4



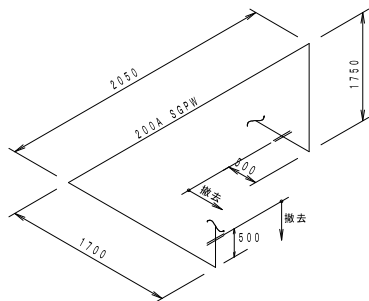
(改修前) 2F 平面図 S=1/100



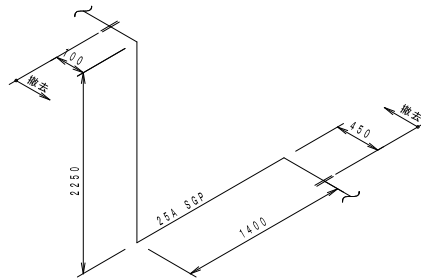
(改修後) 2F 平面図 S=1/100

※プラント機械設備は参考図

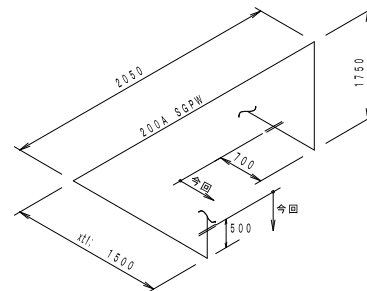
事業名	令和 6 年度 公共下水道事業		
工事名	白須賀ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市 白須賀三丁目 地内		
名称	改修前後 2 階平面図		
縮尺	1/100	設計年月日	令和 5 年 3 月
工種	設計者	株式会社	株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	PM-5



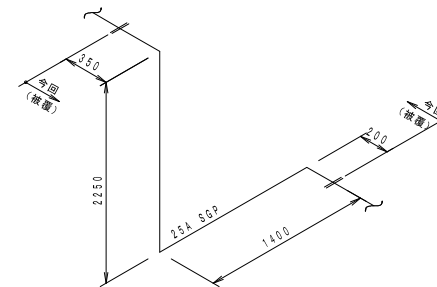
温水揚水管（撤去）



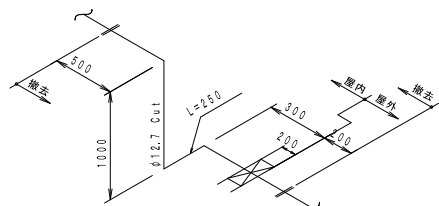
ドレン管（撤去）



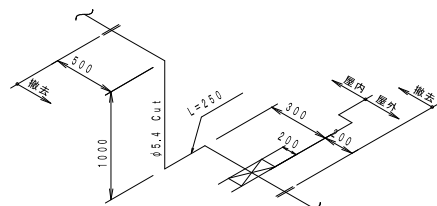
温水揚水管



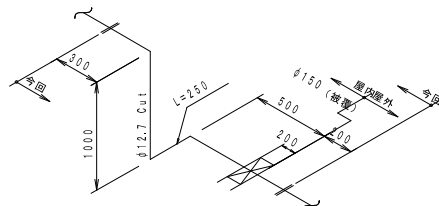
ドレン管



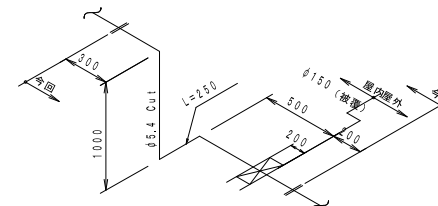
冷媒管（送り）（撤去）



冷媒管（戻り）（撤去）



冷媒管（送り）



冷媒管（戻り）

（改修前）配管スケルトン S=NON.

（改修後）配管スケルトン S=NON.

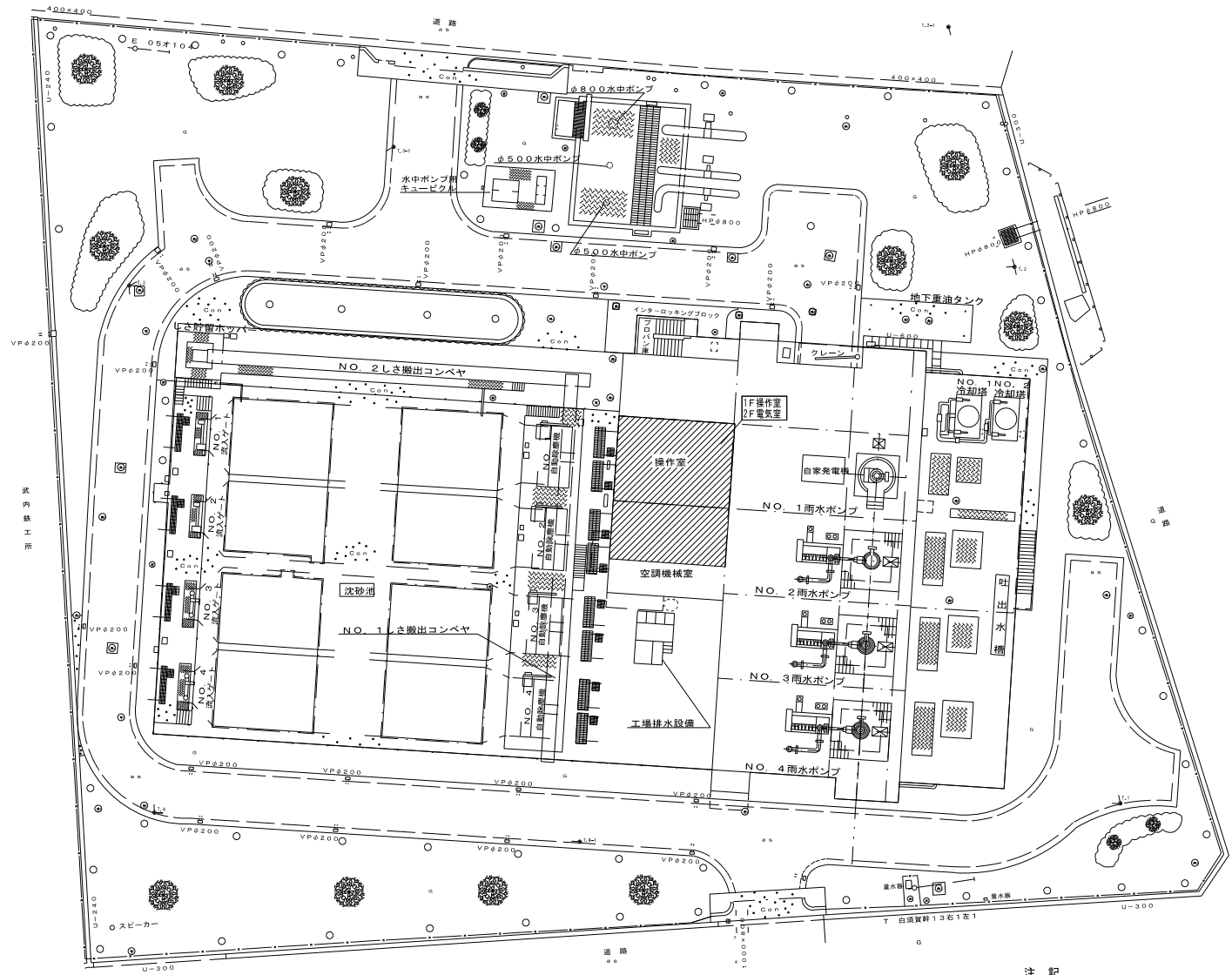
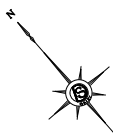
※プラント機械設備は参考図

事業名	令和 6 年度 公共下水道事業		
工事名	白須賀ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市 白須賀三丁目 地内		
名称	配管スケルトン		
縮尺	NON.	設計年月日	令和 5 年 3 月
工種		設計者	株式会社 建設技術コンサルタント
事業主体	四日市市 上下水道部	図面番号	PM-6

白須賀ポンプ場一般平面図

S=1:200

四日市市白須賀三丁目地内



凡 例

⊙	マンホール
⊕	仕 切 弁
⊖	マンホール(下水)
⊗	マンホール(電気)
⊙	バルブ
⊙	照 明 灯
○	庭 園
G	グランド
a s	アスファルト
c o n	コンクリート

注 記

1. [] は主な今回対象範囲を示す。
2. [] は電気室を示す。

事業名	令和6年度 公共下水道事業		
工事名	白須賀ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市 白須賀三丁目 地内		
名 称	一般平面図		
縮 尺	1/200	設計年月日	令和5年3月
工 種	電 気	設 計 者	株式会社 日新技術コンサルタント
事業主体	四日市市	図面番号	AE-1

白須賀ポンプ場耐震補強工事

設計図

仕様書

I. 工事概要

- | 1. 工事場所 | 四日市市 白滝賀三丁目 地内 | | | | |
|---------|----------------|------|----------------------|----------------|----|
| 2. 建物概要 | | | | | |
| 建物名称 | 構造 | 階数 | 建築基準法による
延べ面積 (㎡) | 消防法施行令
別表第一 | 備考 |
| ポンプ棟 | RC造 | 地上3階 | 1,872.13 | 16階以下 | |
| | S造 | | | | |
| | 木造 | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

3. 工事種目 (○印の付いたものを適用する)

建物別及び屋外		工 事 種 別	
工 事 種 目	ポンプ機		
○ 電 力 設 備	改修 一式		
・ 動 力 設 備			
・ 電気自動車用充電設備			
・ 電 熱 設 備			
・ 蓄 電 機 設 備			
・ 変 電 設 備			
・ 変 電 設 備			
・ 構内情報通信網設備			
・ 構内文 照 設 備			
・ 情報表示設備			
・ 映像・音源設備			
・ 拡 声 設 備			
・ 誘導 天 板 設 備			
・ テレビカメラ設置設備			
・ 防犯カメラ設備			
・ 駐車場警報設備			
・ 防犯・入退室管理設備			
○ 火 災 報 知 設 備	改修 一式		
・ 中央監視制御設備			
・ 構内配電線路			
・ 構内通信線路			
・ テレビ電流遮断除去工事			
○ 撤 去 工 事	改修 一式		

4. 指定部分 ☒ 無 ・ 有 (部位:)
指定部分工期 令和 年 月 日

II. 工事仕様

7. 共通仕様
- (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁倉庫部所定の下記仕様書等のうち、
○印の付いたものによる。
- 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）（以下、「標準仕様書」という。）
 - 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）
 - 公共建築設備工事標準選定（電気設備工事編）（令和4年版）（以下、「標準選定」という。）

2. 特記仕様
項目及び特記事項は○印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項
① 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ① 風圧力 風速 $(V) = 34u(z)$ ② 地表面高度定値 $\cdot$ Ⅰ $\cdot$ Ⅱ $\cdot$ Ⅲ $\cdot$ Ⅳ $\cdot$ ③ 積雪荷重 積雪積雪量 (0.3m)
② 環境への配慮	(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次のいずれかに該当しないとする。 ① 合成、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、繊維材、断熱材、塗料、土壌塗料、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しない又は含有量が極めて少ない材料で、設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼン等の含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジブチル及びフタル酸ジシブチル）を含有しない環境配慮の可塑剤を用い、添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、装飾、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しないか、含有量が極めて少ない材料を使用する。 (2) 設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは、次の①又は②に該当する材料を指し、同区分（第三種）とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ① 建築基準法施行令第10条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散量基準材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第10条の7第4条の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③ 建築基準法施行令第10条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散量基準材料 ④ 建築基準法施行令第10条の7第4条の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 (3) 「国等による環境物品等の調達の規程に関する法律」に基づく特定調達物品等に関する利用の基準は、「環境物品等の調達の規程に関する基本方針（平成27年2月閣議決定）」による。

項目

特記事項

材料・機材の品質等

(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の値、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

(2) 下表に示す材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥までの事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督官の承認を受ける。ただし、製造業者等が記載されているのは、証明となる資料等の提出を省略することができる。

① 品質及び性能に関する試験データが準備されていること。

② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。

③ 安定的な供給が可能であること。

④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

⑤ 製造又は施工の記録があり、その信頼性があること。

⑥ 販売、貸与等の営業体制が整えられていること。

機 材 名 称	
LED照明器具	高圧ナトリウムランプ
照明制御装置	高圧ナトリウムランプ
可変電圧調整機能インバータ装置	高圧ナトリウムランプ
分電盤	高圧ナトリウムランプ
無防犯	高圧ナトリウムランプ
フェーズドラング装置	高圧ナトリウムランプ
高圧スイッチgear (C/W形、P/W形)	高圧ナトリウムランプ
高圧交流断開器	高圧ナトリウムランプ

電圧周波数

・ 50 Hz

○ 60 Hz

電気工作物の種類

○ 事業用電気工作物

・ 一般用電気工作物

電気保安技術者

・ 要

○ 不要

電気工事士

契約電力500kV以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。

工事用設備物

すべて受注者の負担とする。
構内につくることか ・ できる ・ できない

足場その他

・ 別掲の図表が作成されたものは、無碍で使用できる。

・ 本工事と関係する。(改修工事の場合は第3編 2.2.2に於ける下記に於ける。)

・ 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、両ガイドラインの別冊1「手すり先行工法による足場の確立等に関する基準」における2の(2)手すり置入方式または(3)手すり先行用足場方式により行う。

・ 内部足場の種類()

・ 外部足場の種類()

仮設掘工事

仮設掘期間() 図示()

仮設掘等() 変電設備() 発電設備() 電灯設備() 図示()

養生

養生範囲() 図示()

養生方法()

施工調査

○ はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に造成工事調査を行うこと。

・ 石積含有分析調査(定性分析により石積が含まれている場合は、定量分析を実施する。)

・ 既設設備配管等を切替または接続する場合は、事前に試運転を行うこと。

周辺環境対策

周辺環境の維持について関係は、非建設関係等による建設物の養生を行い、監督機関に報告書を出すもの。また、放射線透過検査による場合は特記とし、撮影枚数は、1枚以上/部位とする。

穿孔作業

既設配管に穿孔する場合は金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を使用する。

耐震安全性の分類と耐震施工

(1) 設備機器、電気配線の固定は、次に示す事項を抜き、すべて「建設設備耐震設計・施工指針2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。(100kg以上の機器を対象とする。)

1) 設計用水平地震力
機器の重量[kN]に、設計用水平地震係数を乗じたものとする。
なお特記なき場合、設計用水平地震係数は次のとおり。

設置場所	機器種別	・ 特定の施設		・ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階・ 屋上及び 塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防護支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
中間階	防護支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防護支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

※水槽類には、オイルタンク等を含むものとする。

上層階とは、2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4層とす。
中間階とは、地階、1階を除く各階で上層階に該当しないものとする。

重要機器
・ 制御盤
・ 変流機
・ キュービクル
・ 変電装置
・ 変流機用変換機
・ 中央監視制御装置
・ その他()

2) 設計用斜地地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

交通安全管理

交通誘導員

・ 配置する 名以上(大型車の出入は必ず)
・ 配置しない
・ 交通誘導警備員A
・ 交通誘導警備員B

項 目		特 記 事 項
15	建設発生の形態	・ 埋戻し後の建設発生土は、監督官署が指示する構内の場所に敷きならしとする。 ・ 構内敷出が適切発生する。 市建設発生土と分類される場合は、事前に審議にて処分地の報告（位置図等）を行い、処分地での埋戻し状況が分かる写真を提出すること。また、処分地が既有構内の場合、土地所有者からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。
16	電線本数、管径等	分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配管・配線は、経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督官署の承認を得た後に変更して変更しても差し支えない。 ○ 管内（ 内外両導線用ケーブル仕上仕掛け用、 樹脂、ビッド等 ） ・ 樹脂（ ・ 管内 ・ 屋外 ・ 全て ・ 両用 ）
17	金属製電線管の 塗料・仕上	下記の金属製電線管の露出配管は塗装、叩き等の仕上を行う。 ○ 管外（ 内外両導線用ケーブル仕上仕掛け用、 全て（塗装済用除く） ） ・ 塗装（ ・ 管内 ・ 屋外 ・ 全て ・ 両用 ）
18	フラッシュプレート	図面に特記しない場合は、 ・ 金属製（ステンレス、軽金属も含む） ・ 樹脂製 とする。
19	電 線 類	E100ケーブルは、用途に応じ色分けすること。
20	二重床内器具	二重床内に設置する器具の位置表示として、マーキングを直上の天井面に付けること。 また、用途に応じ色分けすること。
21	インバータ装置の 機効効率	三相可変速度電動機用インバータ装置の機効率は次の数値以上とする。
電動機出力 (kW)		0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11 15 18.5 22 30 37 45
機効率 (%)		86.0 88.0 90.0 92.0 94.0 96.0 98.0 94.5 94.5 95.0 95.5 95.5 95.5 95.5
備考（ 1 ） 機効率は、JET-T4245「汎用インバータの機効効率」により算出した値とする。		
（ 2 ） 機効率は、JIS C 4212「高効率低圧三相可変式三相電動機」の定格電圧200V、IP43、4極、50Hzの電動機とされたときの数値とする。		
22	高効率誘導電動機の 配線用遮断器等の 選定	高効率誘導電動機回路保護用の配線用遮断器等の選定は下記による。
200V三相誘導電動機回路の器具容量等		
電 動 機		器具容量、コンデンサ回路の配線
定格出力 (乗数) [kW]	定格電流 [A]	配線用遮断器等 [A]
1相3線 200V	1相3線 200V	1相3線 200V
0.2 1.8 15	—	15 3
0.4 3.2 15	—	15 5
0.75 4.8 15	—	15 5
1.5 8 30	—	15 10
2.2 11.4 40	—	20 10
3.7 17.4 75	—	30 20
5.5 26 100	60 50	30 3.5
7.5 34 125	75 60	30 3.5
11 40 125	125 75	60 3.0
15 65 125	150 125	60 3.0
18.5 79 150	175 125	100 14
22 93 175	200 150	100 14
30 124 250	300 200	150 14
37 152 300	350 225	200 14
45 190 400	450 250	250 14
55 228 450	500 250	250
400V三相誘導電動機回路の器具容量等		
電 動 機		器具容量、コンデンサ回路の配線
定格出力 (乗数) [kW]	定格電流 [A]	配線用遮断器等 [A]
1相3線 200V	1相3線 200V	1相3線 200V
0.2 0.9 15	—	15 3
0.4 1.6 15	—	15 3
0.75 2.4 15	—	15 5
1.5 4 15	—	15 5
2.2 5.5 20	—	15 10
3.7 8.7 30	—	15 10
5.5 13 40	30 30	15 2.0
7.5 17 75	40 30	20 2.0
11 24 100	60 50	30 3.5
15 32 125	75 60	30 3.5
18.5 39 125	100 75	60 3.5
22 46 125	100 100	60 8.0
30 62 125	150 125	60 8.0
37 76 150	175 125	100 8.0
45 85 200	225 150	100 6.0
55 115 225	300 175	150 14
75 155 300	350 225	150 14
90 180 350	400 300	200 22
110 220 450	500 350	250 22
図面名		
特記仕様書		設計番号
建築電気設備 1		1: NO (A2)
縮 尺		作図 令和 6 年 12 月
株式会社日新技術コンサルタント		工 事 名
		白須賀

項目

特記事項

23埋地構

埋地構の材料は下記による。なお埋地構E-B(14φ)の長さ1:1,500mm 以上とし、14φはW=30 L=900mm 以上、14φは、W=40 L=1,200mm 以上とすると差し支えない。

埋地の種類	記号	埋地筋筋道	埋地場(参考)
・ 共同埋地	E-A110	□以下	E-B (14φ) × 3 連ー1道
・ 共同埋地	E-A10	10□以下	E-B (14φ) × 3 連ー3道
・ A 種	E-A	10□以下	E-B (14φ) × 3 連ー2道
・ B 種	E-a	□以下	E-B (14φ) × 3 連ー1道
・ C 種	E-a	100□以下	E-B (10φ) × 1 (L=1,000mm)
・ D 種	E-a	10□以下	E-B (14φ) × 3 連ー2道
・ 高圧遮断器用	E-a	10□以下	E-B (14φ) × 3 連ー2道
・ 低圧遮断器用	E-a	10□以下	E-B (14φ) × 3 連ー1道
・ 構造体埋地			
・ 交換機用	E-i	10□以下	E-B (14φ) × 3 連ー3道
・ 通信用	E-u	10□以下	E-B (14φ) × 3 連ー3道
・ 通信用	E-u	100□以下	E-B (10φ) × 1 (L=1,000mm)
・ 電話用(10φの通信用)	E-i	100□以下	E-B (10φ) × 1 (L=1,000mm)
・ 測定用	E-i		E-B (10φ) × 1 (L=1,000mm)

24天井上げ表示

図面において、署名に () を付したものは真実并を示し、それ以外には天井上げの数量を示す。

取付高さ

壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は壁掛として下表による。

名 称	測 点	取付高さ [mm]
ブラケット (一般)	床面 ～ 中心	2,100
〃 (特殊)	〃	2,500
〃 (横上)	壁上面 ～ 中心	150
スイッチ (一般)	床面 ～ 中心	1,200
〃 (多機能使用用)	〃	1,200
自動スイッチ (照明、換気扇用等)	〃	1,800
フオート、電話用リフト、テレビ用 (一般)	〃	150
〃 (一般)	〃	150
〃 (台上)	台上面 ～ 中心	150
コンセント (土間)	床面 ～ 中心	800 ～ 1,300
コンセント (電動車いす充電用)	〃	800
引出開閉器 (板付)	床面 ～ 上端	1,500
分電盤、制御盤、実験盤	床面 ～ 中心	1,500 (上端1,900mm以下)
開閉器	〃	1,500
電圧測定用押しボタン	〃	1,200
排気用端子箱	床面、床下 ～ 中心	500
試験用接続端子箱	床面 ～ 下端	800
排気用排気設備	地上 ～ 中心	800
給油ボックス	地上 ～ 給油口	1,000
室内端子箱 (地下・室内)	床面 ～ 下端	200
中間端子箱 (EPS・電気室)	床面 ～ 中心	1,500
壁付電話機	〃	1,300
配線計	〃	1,500 (上端1,900mm以下)
子時計、スピーカ	〃	(天井高) × 0.9
ファンロータ	〃	1,200
表示盤	〃	(天井高) × 0.9
発信等 (出表示用)	〃	1,200
外部受信用インターホン (子機)	〃	標準型による
受付けインターホン (上記以外)	〃	1,100
呼びボタン (多機能使用用)	〃	800
復帰ボタン	〃	1,200
地下表示灯 (〃)	〃	2,000
テレビ接收器台座	天井下 ～ 上端	200
火災受信機 (複合機)	床面 ～ 機本体	800 ～ 1,500
計量設備	床面 ～ 中心	1,500
機器台座箱 (火災検知設備)	〃	800 ～ 1,500
受信機	〃	800 ～ 1,500
受信ベル	〃	(天井高) × 0.9
表示灯 (火災検知設備)	〃	(天井高) × 0.8
運動制御機 (自動開閉)	〃	1,500
ガス漏れ検知器 (警力ス)	〃	200
ガス漏れ検知器 (検力ス)	天井高 ～ 中心	(天井高) - 200

(参考) 天井高を基準とする取付高さは、天井高さが 2,500mm から 3,000mm の場合に適用する。
天井高さが 3,000mm 以上の場合及び機器の使用に支障が生じる場合は、監督機関と協議する。

26他工事又は他種との取合ひ

工事区分表による。 ただし、これにより難い場合は、監督機関と協議する。

27資源有効利用促進

※本工事が資源の有効な利用の促進に関する法律 (平成三年法律第四十八号) の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合 (下記内容該当工事) は、受注者は、工事の発注者に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。

建設副産物を搬出する際の計画

土砂500m³以上

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材の合計が200t以上

再生資材を利用する際の計画

土砂500m³以上

鉄500t以上

加熱アスファルト200t以上

図面番号

AE-2

ポンプ場耐震補強工事

設計図

1 級建築士 登録第 166668 号 宮本 智也

東京都中央区日本橋區御町1-5-7

令和元年12月間

[illegible]

凡 例

照明器具姿図

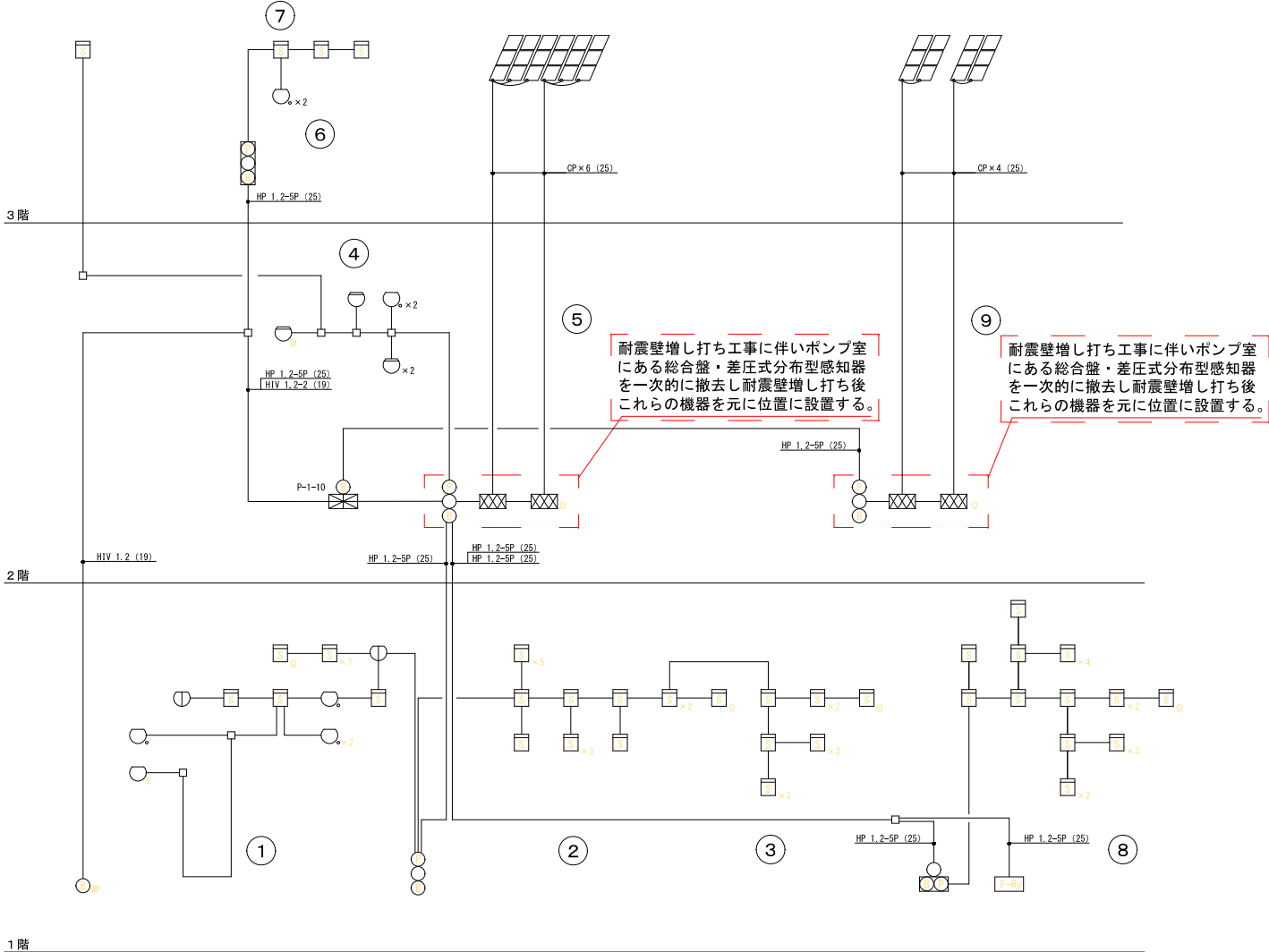
記 号	名 称 ・ 摘 要	記 号	名 称 ・ 摘 要
 ①	FHF32W×1逆富士形蛍光灯	●	タンブラスイッチ 片切 15A
 ②	FHF32W×2逆富士形蛍光灯	● ₃	タンブラスイッチ 3路 15A
 ③	FHF32W×2逆富士形蛍光灯 電池内蔵形非常用	● _{2P}	タンブラスイッチ 両切 15A
 ④	FL20W×2逆富士形蛍光灯	● _{EX}	耐圧防爆形 タンブラスイッチ 両切 20A
 ⑤	FHF32W×1パイプ吊安全増防爆形蛍光灯	● _A	自動点滅器 200V 3A
 ⑥	FL20W×2下面開放埋込形蛍光灯	⊗ _{RL}	リモコンスイッチ 6回路
 ⑦	FL20W×4下面開放埋込形蛍光灯	● ₂	コンセント 2P15A×2
 ⑧	FHC32W+20W和風ペンダント形蛍光灯	● _{2E}	コンセント 2P15A×2 接地極付
 ⑨	FL20W×1ブラケット形蛍光灯	● _{UP}	アップコンセント 2P15A 接地極付
 ⑩	FL20W×1ブラケット形蛍光灯 防雨型	● _{E (200V)}	コンセント 200V 2P20A 接地極付
 ⑪	FHF32W×1階段誘導蛍光灯 電池内蔵形非常用	● _{EX}	耐圧防爆形 コンセント 2P15A 接地極付
 ⑫	HID400W×1高天井水銀灯 昇降装置付		
 ⑬	FL20W×1ブラケット形蛍光灯	——	隠ぺい配管配線
 ⑭	FGL20W×1シーリング形浴室蛍光灯 防湿型	——	床隠ぺい配管配線
 ⑮	FGL20W×1シーリング形軒下蛍光灯 防雨型	——	露出配管配線
 ⑯	JE30W×1埋込形ハロゲン灯 電池内蔵形非常用	—— ———	ケーブル配線
 ⑰	壁付形避難口誘導灯C級 電池内蔵形	—— - ——	地中埋設配管配線
 ⑱	天井付形避難口誘導灯C級 電池内蔵形		
 ⑲	天井付形通路誘導灯C級 電池内蔵形	♂	立上り
 ㉑	直付耐圧防爆片面形避難口誘導灯BL級 電池内蔵形	♀	引下げ
 ㉒	直付耐圧防爆片面形通路誘導灯BL級 電池内蔵形	□	ジョイントボックス
 ㉓	HID300W×1投光器広角形水銀灯 重耐塩害仕様	○	耐圧防爆形露出ボックス
 ㉔	HID300W×1アルミポール可傾ベース式水銀灯	☒	ブルボックス
 ㉕	電灯分電盤 L-1		
 ㉖	外灯盤		
 ㉗	安定器盤		
 ㉘	電動昇降装置用操作盤		
 ㉙	換気扇		

①	FH32W×1逆富士形蛍光灯	⑥	FH32W×2逆富士形蛍光灯	⑩	FH32W×1パイプ吊安全増防爆形蛍光灯	⑭	FL20W×2下面開放埋込形蛍光灯
		⑥	FH32W×2逆富士形蛍光灯 電池内蔵形非常用				
		⑥	FL20W×2逆富士形蛍光灯				
⑤	FL20W×4下面開放埋込形蛍光灯	⑦	FHC32W+20W和風ペンダント形蛍光灯	⑨	FL20W×1ブラケット形蛍光灯	⑬	FL20W×1ブラケット形蛍光灯 防雨型
⑪	FH32W×1階段誘導蛍光灯 電池内蔵形非常用	⑪	HID400W×1高天井水銀灯 昇降装置付	⑫	FL20W×1ブラケット形蛍光灯	⑮	FGL20W×1シーリング形浴室蛍光灯 防湿型
⑮	FGL20W×1シーリング形軒下蛍光灯 防雨型	⑮	JE30W×1埋込形ハロゲン灯 電池内蔵形非常用	⑰	壁付形避難口誘導灯C級 電池内蔵形	⑲	天井付形通路誘導灯C級 電池内蔵形
⑲	HID300W×1アルミポール可傾ベース式水銀灯	⑲	直付耐圧防爆片面形避難口誘導灯BL級 電池内蔵形	⑲	天井付形避難口誘導灯C級 電池内蔵形		
				㉑	直付耐圧防爆片面形通路誘導灯BL級 電池内蔵形	㉓	HID300W×1投光器広角形水銀灯 重耐塩害仕様

A 1 → A 3 縮小 参考図

事業名	令和 6年度 公共下水道事業
工事名	白須賀ポンプ場耐震補強工事
工事場所	四日市市白須賀三丁目地内
名称	照明設備 凡例・姿図
縮尺	1/100 設計年月日 令和5年3月
工種	電気 設計者 株式会社 日新技術コンサルタント
事業主体	四日市市 図面番号 AE-4

凡 例

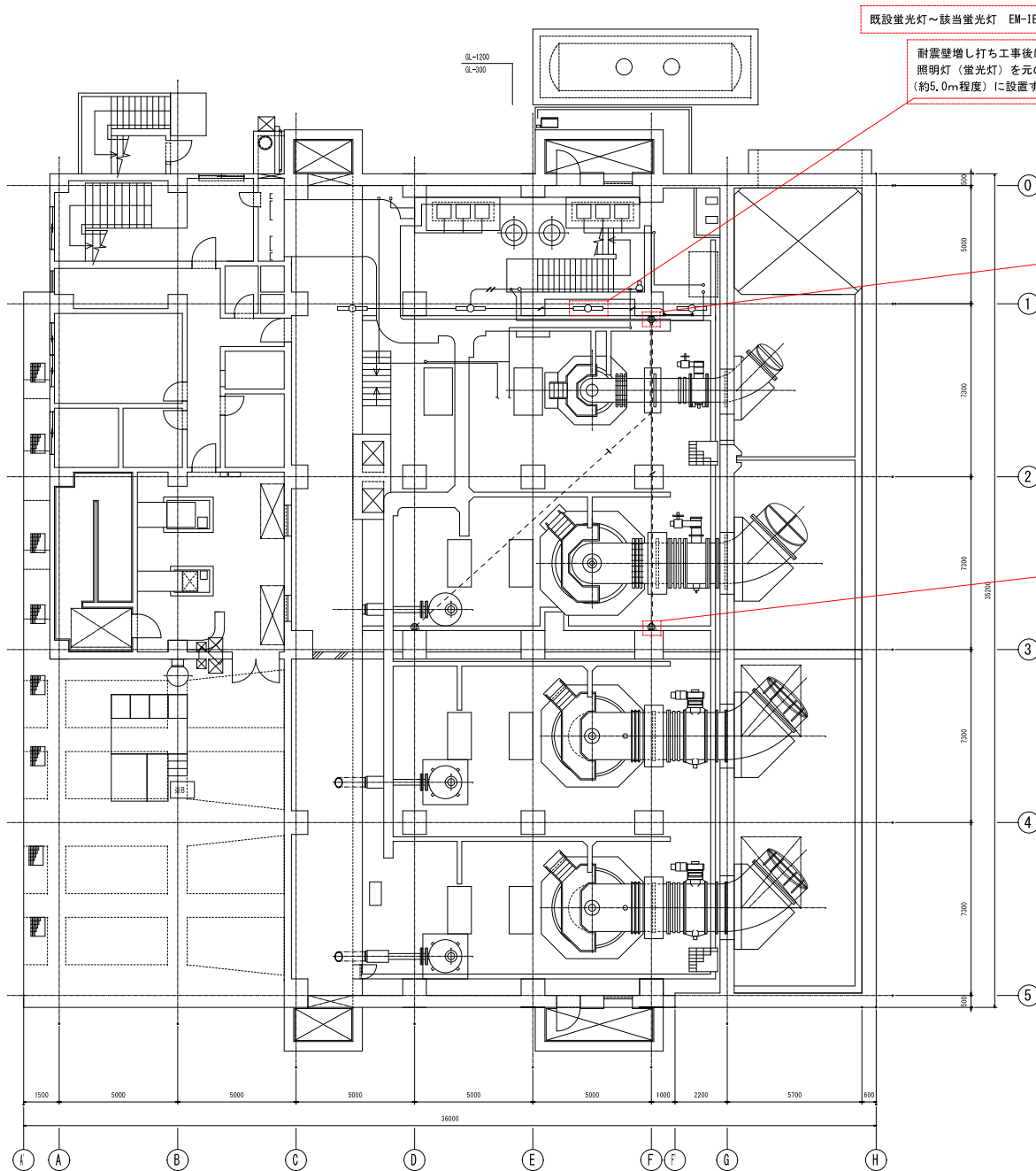
[illegible]

系統図

注 記

1. 部は今回施工箇所を示す。
2. その他は施工対象外を示す。

事業名	令和 6年度 公共下水道事業		
工事名	白須賀ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市 白須賀三丁目 地内		
名称	照明設備凡例・変図		
縮尺	NONE	設計年月日	令和 5年 3月
工種		設計者	株式会社 日新建設コンサルタント
事業主体	四日市市 上下水道部	図面番号	AC-5



ポンプ棟 1 F 平面図 S=1/100

既設蛍光灯～該当蛍光灯 EM-1E 1.6sq CP19 φ

該当蛍光灯～既設ブルボックス EM-1E 1.6sqYU・27152 CP19 φ

耐震壁増し打ち工事後に
照明灯（蛍光灯）を元の位置
（約5.0m程度）に設置する。

耐震壁増し打ち工事後に
蛍光灯からP Bまで元の位置
（約3.5m程度）に配線する。

既設コンセント 600V EM-CE 3.5sq-2C IE3.5sq CP25 φ

耐震壁増し打ち工事後に
コンセントを元に位置に
（約0.2m程度）設置する。

既設コンセント 600V EM-CE 3.5sq-2C IE3.5sq CP25 φ

耐震壁増し打ち工事後に
コンセントを元に位置に
（約0.2m程度）設置する。

U 配線工事図凡例（各図に共通）

記 号	名 称
----	露出配管配線
- - - -	床組べい配管配線
-----	ケーブル配線
-----	隠べい配線
-----	地中埋設配管配線
○ ○ ○	立上げ、素通し、引下げ

- U 注 記
1. 部は今回施工箇所を示す。
 2. その他は施工対象外を示す。

事業名	令和 6 年度 公共下水道事業		
工事名	白須賀ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市 白須賀三丁目 地内		
名称	配線図（ポンプ棟 1 F 平面図） （更新後）		
縮 尺	1/100	設計年月日	令和 5 年 3 月
工 種	電 気	設 計 者	株式会社 緑樹建設コンサルタント
事業主体	四日市市	図面番号	AE-6

電気室壁名称

No.	壁 記 号	壁 名 称	備 考
①	H-1	6KV引込壁	既設
②	H-2	6KV受電壁	〃
③	H-3	買電自家発切換・VT壁	〃
④	H-4	動力変圧器1次/ZPD壁	〃
⑤	H-5	No.1雨水ポンプ壁	〃
⑥	H-6	No.1雨水ポンプ用S C壁	〃
⑦	H-7A	工場排水設備電盤	〃
⑧	L-1	動力変圧器壁	〃
⑨	L-2	動力主幹壁	〃
⑩	L-3	単相変圧器壁	〃
⑪	CC-S	沈砂池設備C C	〃
⑫	RY-S	沈砂池設備補助継電器壁	〃
⑬	CC-P	主ポンプ補機設備C C	〃
⑭	RY-P	主ポンプ設備補助継電器壁	〃

操作室壁名称

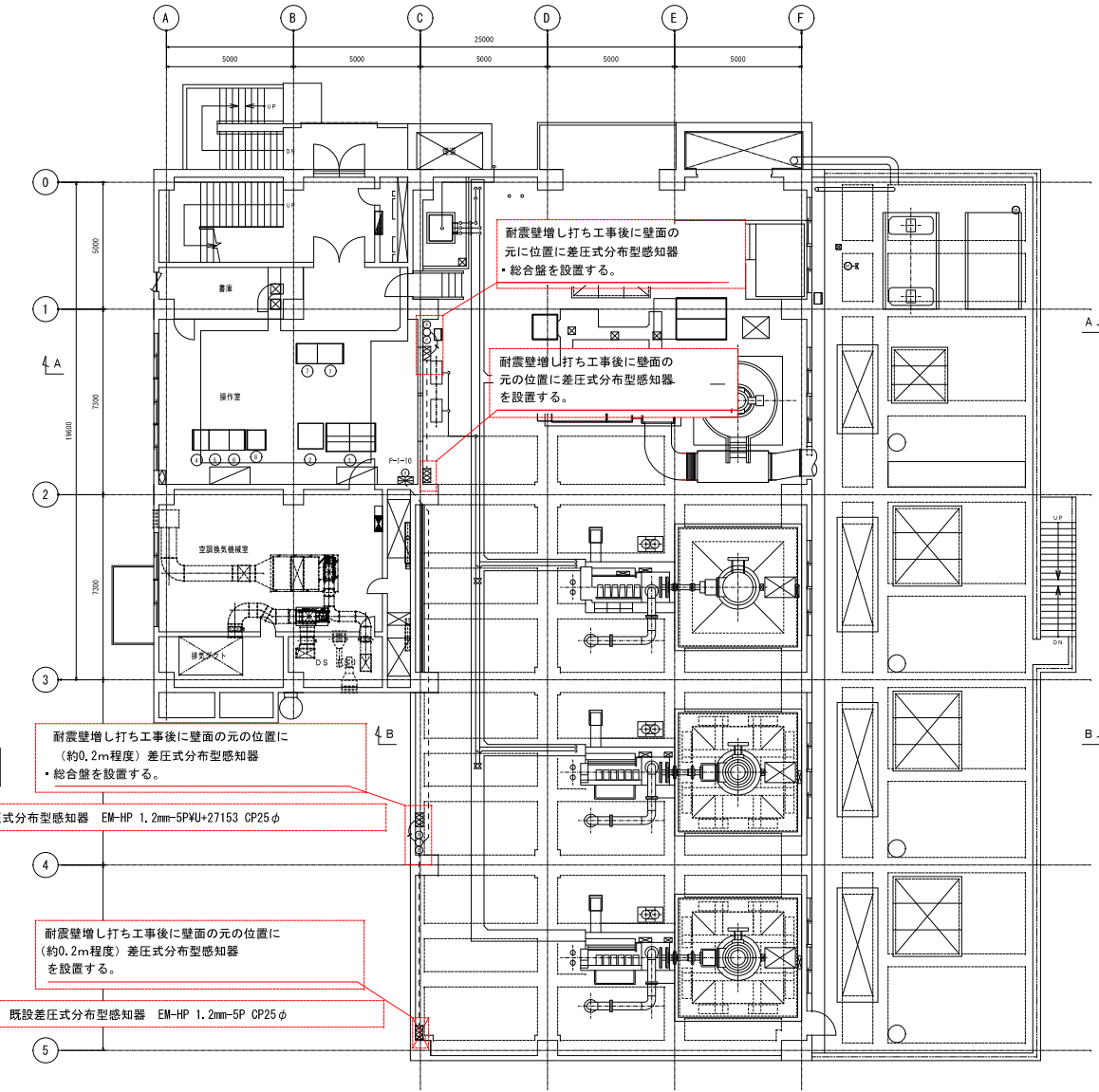
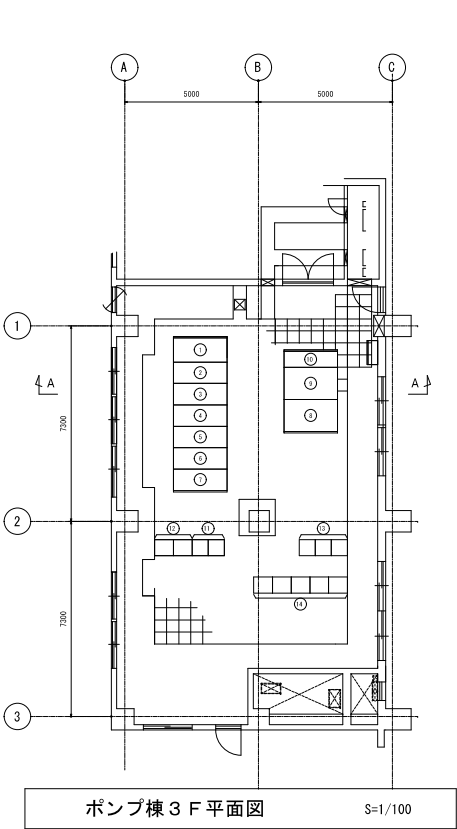
No.	壁 記 号	壁 名 称	備 考
①	KP	計装壁	既設
②	DK-RY	監視操作補助継電器壁	〃
③	DK	中央監視操作卓	〃
④	CVCF-1	蓄電池壁	〃
⑤	CVCF-2	充電器壁	〃
⑥	CVCF-3	インバータ壁	〃
⑦	TM/TC-1	遠方監視装置壁	〃
⑧	ITV	ITV装置	〃
⑨		PC	〃

発電機室壁名称

No.	壁 記 号	壁 名 称	備 考
①	G1	発電機壁	既設
②	G2	自動始動壁	〃
③	GDC	始動用直流電源壁	〃
④		自家発電装置	〃
⑤		排ガス消音器	〃

U 配線工事図凡例（各図に共通）

記 号	名 称
----	露出配管配線
----	床隠ぺい配管配線
-----	ケーブル配線
-----	隠ぺい配線
-----	地中埋設配管配線
○/○	立上げ、素通し、引下げ



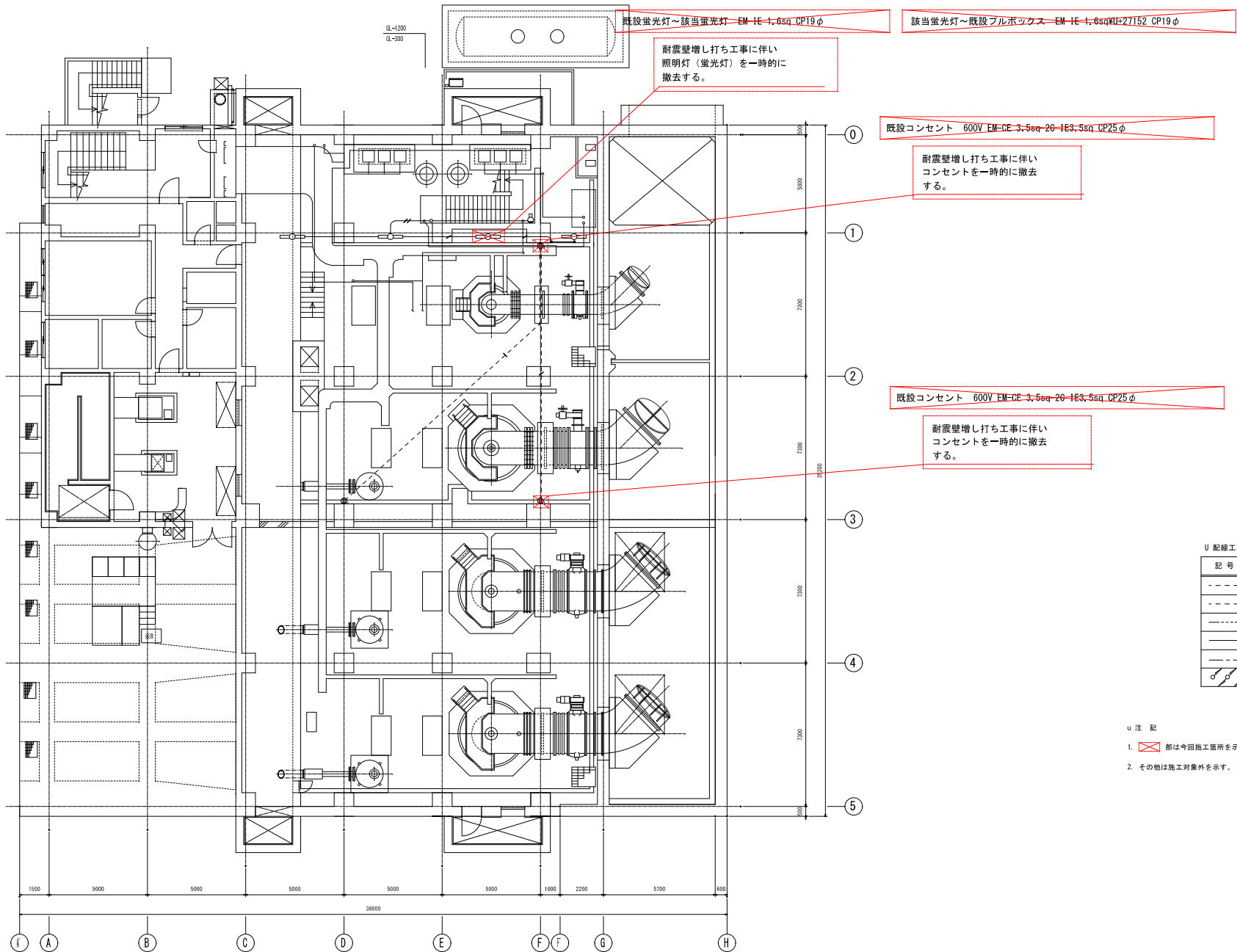
ポンプ棟2F平面図

S=1/100

U 注 記

1. 部は今回施工箇所を示す。
2. その他は施工対象外を示す。

事業名	令和6年度 公共下水道事業		
工事名	白須賀ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市 白須賀三丁目 地内		
名称	配線図（ポンプ棟2F平面図） （更新後）		
縮尺	1/100	設計年月日	令和5年3月
工種	電気	設計者	株式会社 緑野建設コンサルタント
事業主体	四日市市	図面番号	AE-7



ポンプ棟 1 F 平面図 S=1/100

U 配線工事図凡例（各図に共通）

記 号	名 称
----	露出配管配線
----	床隠ぺい配管配線
----	ケーブル配線
----	隠ぺい配線
----	地中埋設配管配線
○/○	立上げ、素通し、引下げ

- U 注 記
- 1. 部は今回施工箇所を示す。
 - 2. その他は施工対象外を示す。

事業名	令和 6 年度 公共下水道事業		
工事名	白須賀ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市 白須賀三丁目 地内		
名 称	配線図（ポンプ棟 1 F 平面図） （更新前）		
縮 尺	1/100	設計年月日	令和 5 年 3 月
工 種	電 気	設 計 者	株式会社 緑野建設コンサルタント
事業主体	四日市市	図面番号	AE-8

電気室壁名称

No.	壁 記 号	壁 名 称	備 考
①	H-1	6KV引込壁	既設
②	H-2	6KV受電壁	〃
③	H-3	買電自家発切換・VT壁	〃
④	H-4	動力変圧器1次／ZPD壁	〃
⑤	H-5	No.1雨水ポンプ壁	〃
⑥	H-6	No.1雨水ポンプ用S C壁	〃
⑦	H-7A	工場排水設備電壁	〃
⑧	L-1	動力変圧器壁	〃
⑨	L-2	動力主幹壁	〃
⑩	L-3	単相変圧器壁	〃
⑪	CC-S	沈砂池設備C C	〃
⑫	RY-S	沈砂池設備補助継電器壁	〃
⑬	CC-P	主ポンプ補機設備C C	〃
⑭	RY-P	主ポンプ設備補助継電器壁	〃

操作室壁名称

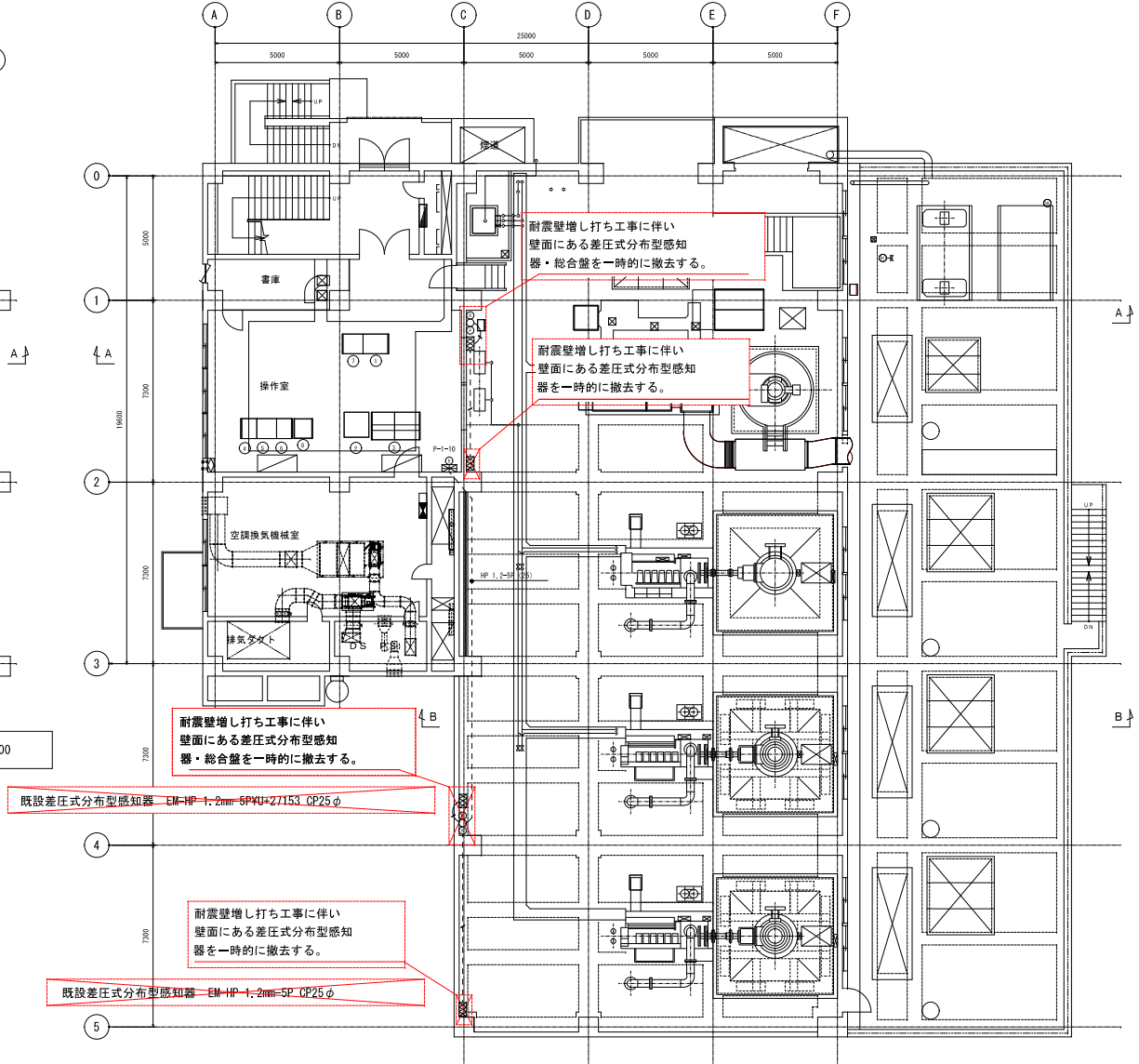
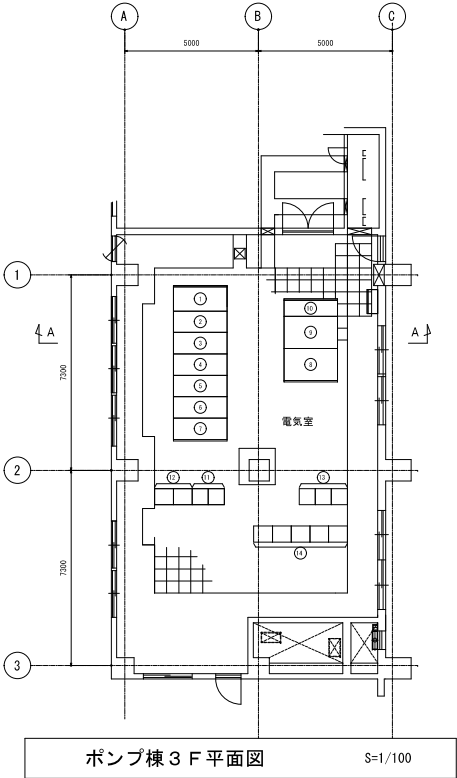
No.	壁 記 号	壁 名 称	備 考
①	KP	計装壁	既設
②	DK-RY	監視操作補助継電器壁	〃
③	DK	中央監視操作卓	〃
④	CVCF-1	蓄電池壁	〃
⑤	CVCF-2	充電器壁	〃
⑥	CVCF-3	インバータ壁	〃
⑦	TM/TC-1	遠方監視装置壁	〃
⑧	ITV	ITV装置	〃
⑨		PC	〃

発電機室壁名称

No.	壁 記 号	壁 名 称	備 考
①	G1	発電機壁	既設
②	G2	自動始動壁	〃
③	GDC	始動用直流電源壁	〃
④		自家発電装置	〃
⑤		排ガス消音器	〃

U 配線工事図凡例（各図に共通）

記 号	名 称
----	露出配管配線
----	床隠ぺい配管配線
-----	ケーブル配線
-----	隠ぺい配線
-----	地中埋設配管配線
○/○	立上げ、素通し、引下げ



ポンプ棟2 F平面図 S=1/100

U 注 記

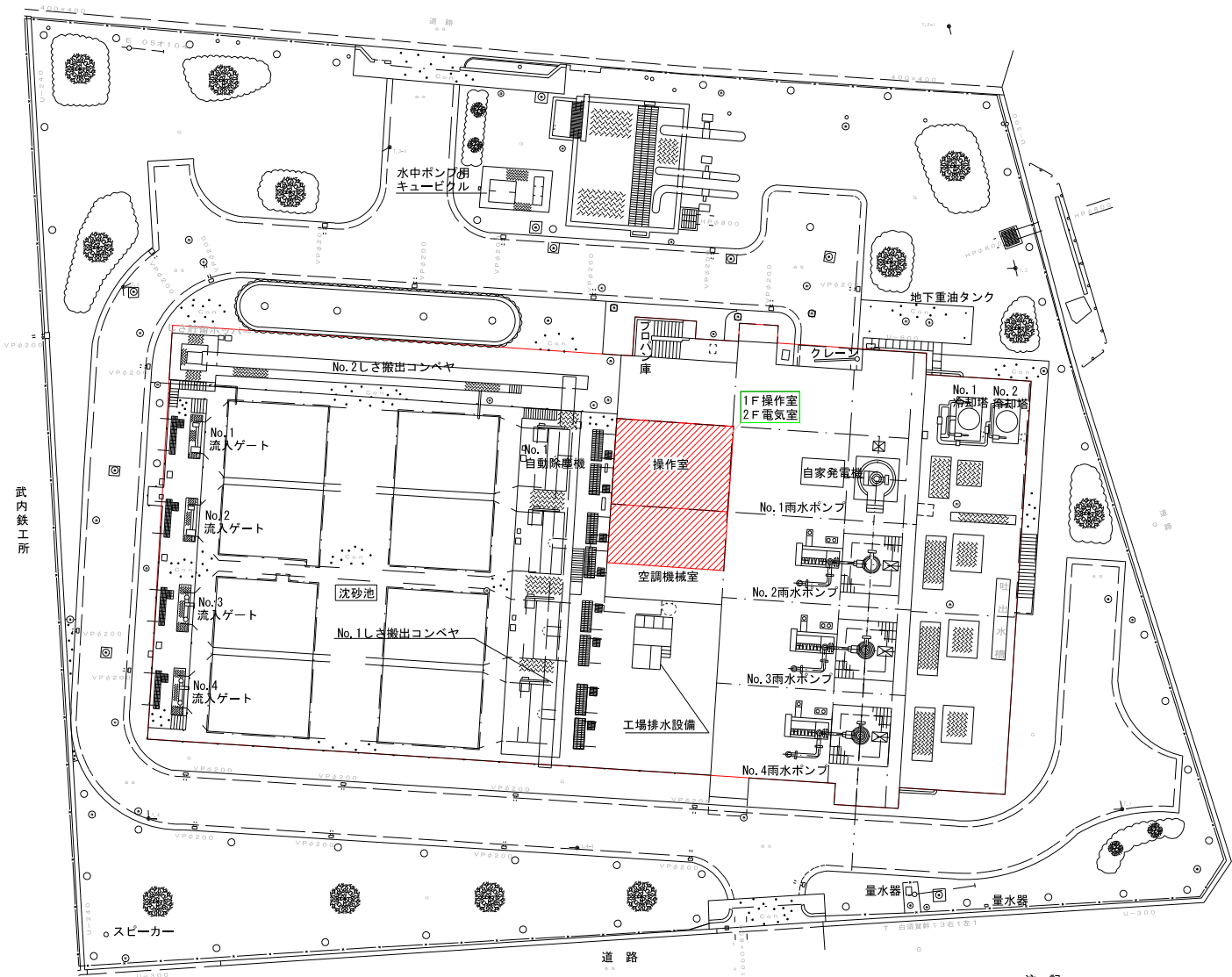
1. 〓 部は今回施工箇所を示す。
2. その他は施工対象外を示す。

事業名	令和 6 年度 公共下水道事業
工事名	白須賀ポンプ場耐震補強工事
工事場所	四日市市 白須賀三丁目 地内
名称	配線図（ポンプ棟2F平面図） （更新前）
縮 尺	1/100 設計年月日 令和 5 年 3 月
工 種	電 気 設 計 者 株式会社 緑野建設コンサルタント
事業主体	四日市市 図面番号 AE-9

白須賀ポンプ場一般平面図

S=1:200

四日市市白須賀三丁目地内

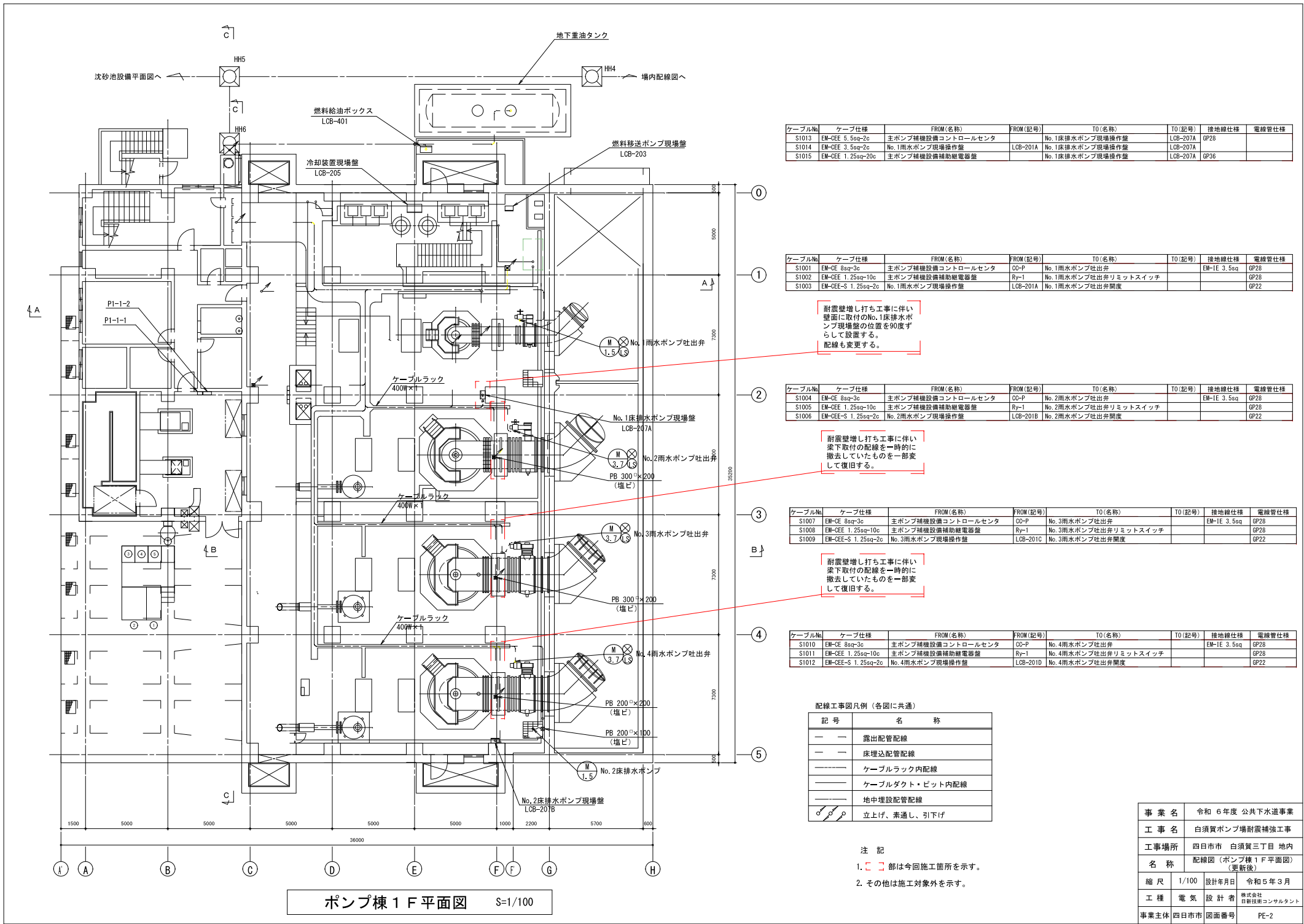


凡 例	
①	マンホール
②	仕 切 井
③	マンホール (下水)
④	マンホール (電気)
⑤	バル ブ
⑥	照 明 灯
○	庭 園
G	グラウンド
a s	アスファルト
c o n	コンクリート

注 記

1. 〇は主な今回対象範囲を示す。
2. 〇は電気室を示す。

事業名	令和 6 年度 公共下水道事業		
工事名	白須賀ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市 白須賀三丁目 地内		
名 称	一般平面図		
縮 尺	1/200	設計年月日	令和 5 年 3 月
工 種	電 気	設 計 者	株式会社 日新技術コンサルタント
事業主体	四日市市	図面番号	PE-1



電気室壁名称

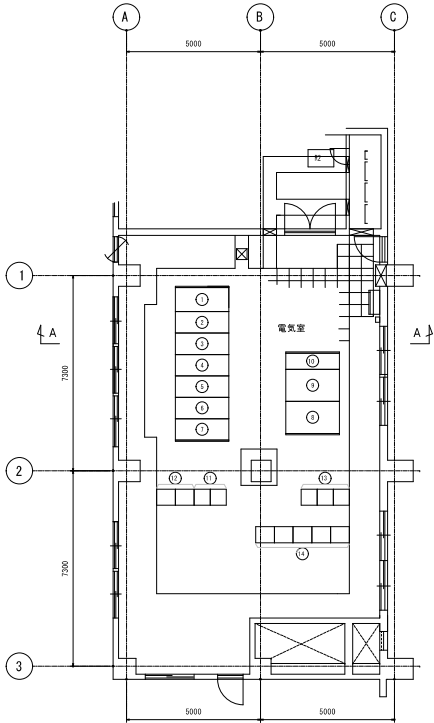
No.	壁 記 号	壁 名 称	備 考
①	H-1	6KV引込壁	既設
②	H-2	6KV受電壁	"
③	H-3	買電自家受電切替・VT壁	"
④	H-4	動力変圧器1次／2FD壁	"
⑤	H-5	No.1雨水ポンプ壁	"
⑥	H-6	No.1雨水ポンプ用S C壁	"
⑦	H-7A	工場排水設備き電室	"
⑧	L-1	動力変圧器壁	"
⑨	L-2	動力主幹壁	"
⑩	L-3	単相変圧器壁	"
⑪	OP-S	沈砂池設備C C	"
⑫	RY-S	沈砂池設備補助配電器壁	"
⑬	OP-P	主ポンプ補助設備C C	"
⑭	RY-P	主ポンプ設備補助配電器壁	"

操作室壁名称

No.	壁 記 号	壁 名 称	備 考
①	KP	計装壁	既設
②	DK-RY	監視操作補助配電器壁	"
③	DK	中央監視操作卓	"
④	CVOF-1	蓄電池壁	"
⑤	CVOF-2	充電器壁	"
⑥	CVOF-3	インバータ壁	"
⑦	TM/TC-1	遠方監視装置壁	"
⑧	ITV	ITV装置	"
⑨		PC	"

ポンプ室壁名称

No.	壁 記 号	壁 名 称	備 考
①	G1	発電機壁	既設
②	G2	自動始動壁	"
③	GDC	始動用直流電源壁	"
④		自家発電装置	"
⑤		排ガス消音器	"



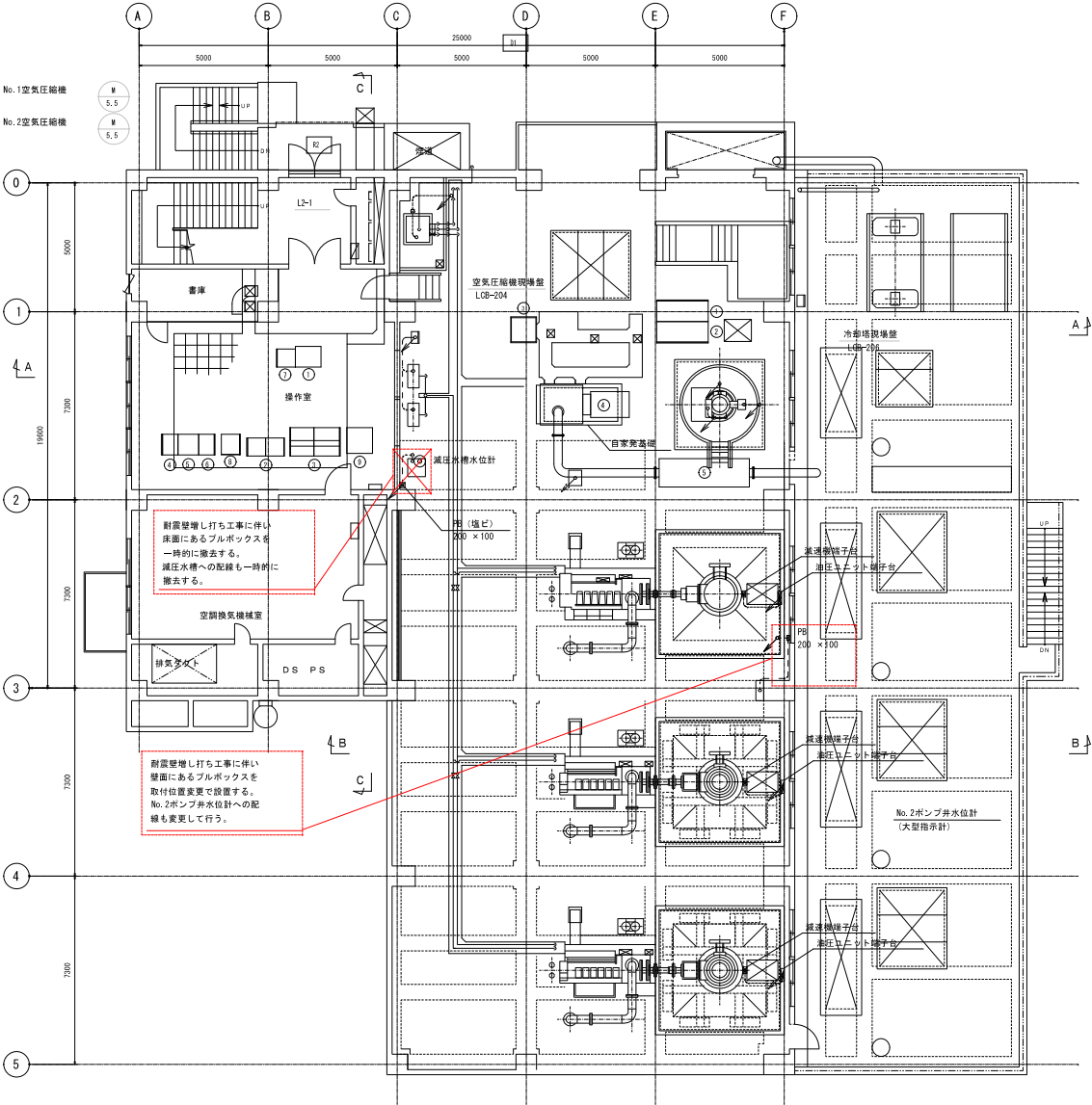
ポンプ棟3F平面図

S=1/100

U 配線工事事例 (各図に共通)

記 号	名 称
----	露出配管配線
----	床埋込配管配線
----	ケーブルラック内配線
----	ケーブルダクト・ビット内配線
----	地中埋設配管配線
↑ ↓	立上げ、素通し、引下げ

ケーブルNo.	ケーブル仕様	FROM (名称)	FROM (記号)	TO (名称)	TO (記号)	接続器仕様	電線管仕様
S1016	EM-CEE 1.25sq-20c	主ポンプ機械設備補助配電器	Ry-P	No.1雨水ポンプ用減速機端子台			QP36
S1017	EM-CEE 1.25sq-20c	主ポンプ機械設備補助配電器	Ry-P	No.2雨水ポンプ用減速機端子台			QP36
S1018	EM-CEE 1.25sq-20c	主ポンプ機械設備補助配電器	Ry-P	No.3雨水ポンプ用減速機端子台			QP36
S1019	EM-CEE 1.25sq-20c	主ポンプ機械設備補助配電器	Ry-P	No.4雨水ポンプ用減速機端子台			QP36
S1020	EM-CEE 8sq-3c	主ポンプ機械設備コントロールセンタ	GD-P	No.1空気圧縮機	EM-IE 5.5sq	EP28	
S1021	EM-CE 8sq-3c	主ポンプ機械設備コントロールセンタ	GD-P	No.2空気圧縮機	EM-IE 5.5sq	EP28	
S1022	EM-CEE 1.25sq-3c	主ポンプ機械設備補助配電器		減圧水槽電線 (3P)		EP22	

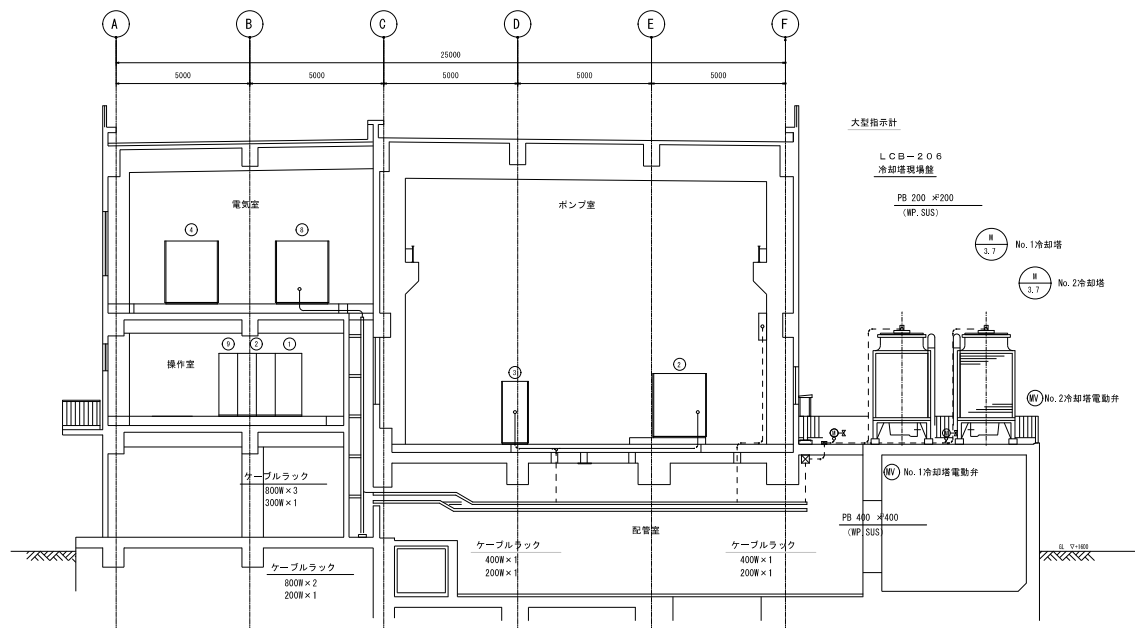


ポンプ棟2F平面図

S=1/100

- u 注 記
1. 部は今回施工箇所を示す。
 2. その他は施工対象外を示す。

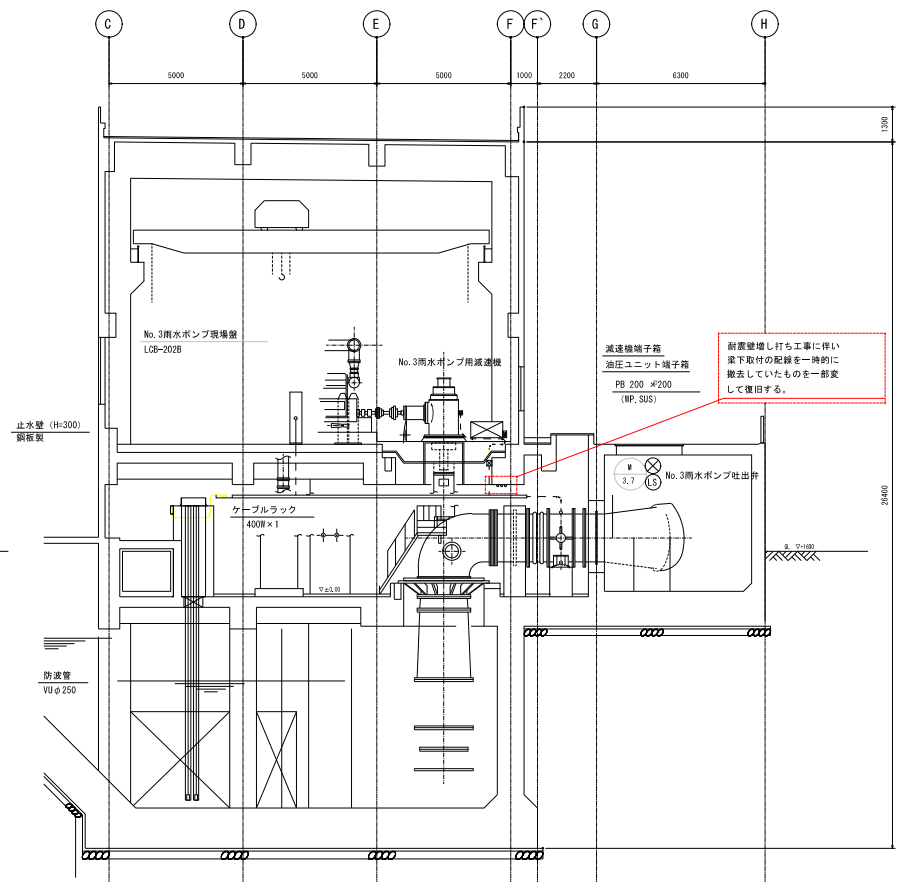
事業名	令和 6 年度 公共下水道事業
工事名	白須賀ポンプ場耐震補強工事
工事場所	四日市市 白須賀三丁目 地内
名 称	配線図 (ポンプ棟3F平面図) (更新後)
縮 尺	1/100 設計年月日 令和5年3月
工 種	電 気 設 計 者 株式会社 緑野建設コンサルタント
事業主体	四日市市 図面番号 PE-3



ポンプ棟AーA断面図 S=1/100

U 配線工事図凡例 (各図に共通)

記 号	名 称
----	露出配管配線
----	床埋込配管配線
-----	ケーブルラック内配線
-----	ケーブルダクト・ビッド内配線
-----	地中埋設配管配線
○/○	立上げ、素通し、引下げ



ポンプ棟BーB断面図 S=1/100

u 注 記

1. [Red Box] 部は今回施工箇所を示す。
2. その他は施工対象外を示す。

事業名	令和 6 年度 公共下水道事業
工事名	白須賀ポンプ場耐震補強工事
工事場所	四日市市 白須賀三丁目 地内
名 称	配線図 (ポンプ棟B, 3F平面図) (更新後)
縮 尺	1/100
設計年月日	令和 5 年 3 月
工 種	電 気 設 計 者
事業主体	四日市市 図面番号 PE-4

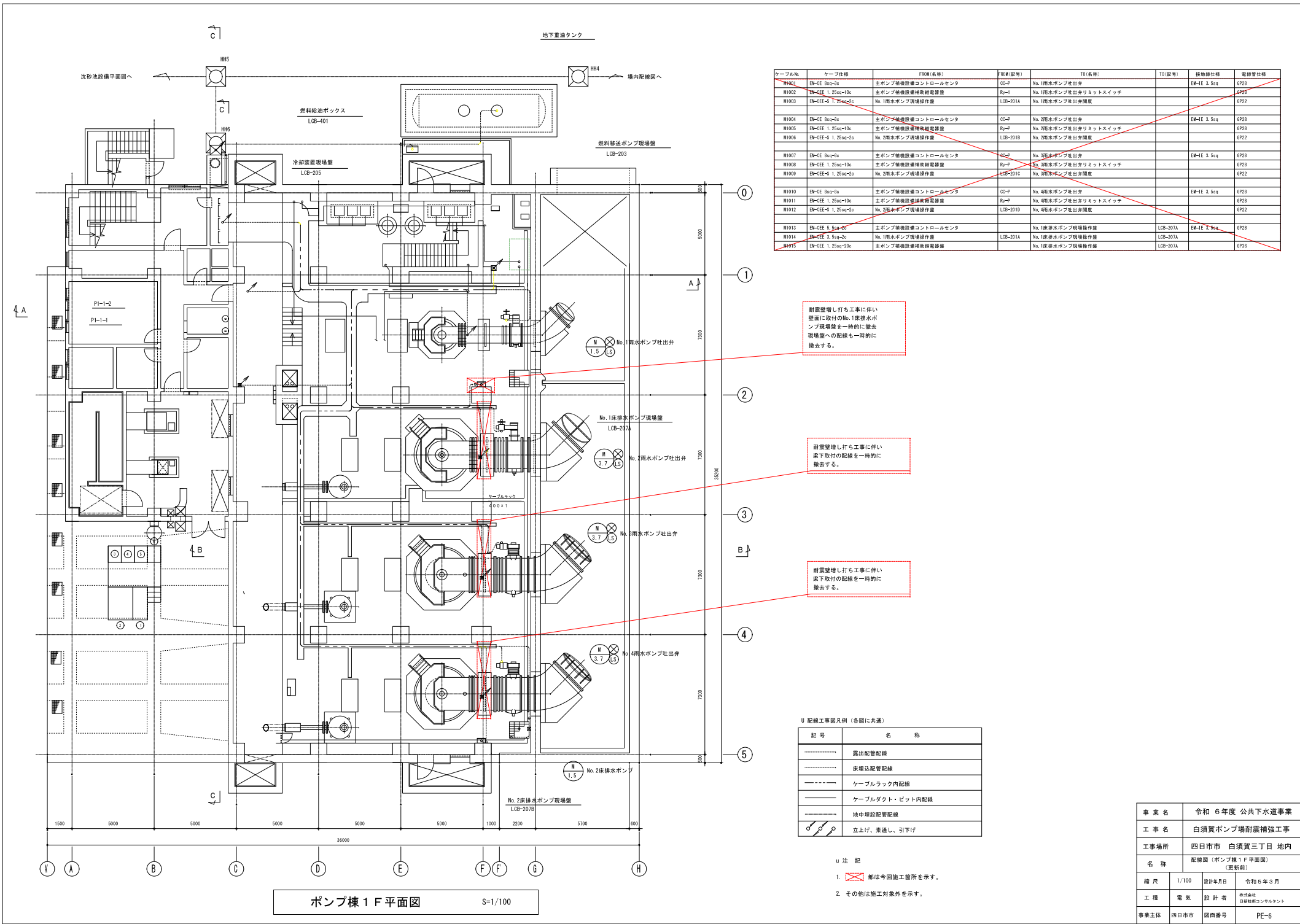
ケーブルNo. : S○○○○ (再利用を示す) ○○○○ (記号無しは新設を示す)

[illegible][illegible]

u 注 記

1.  部は今回施工箇所を示す。
(一時撤去していた配線配管を元に位置に復旧すること)
2. その他は施工対象外を示す。

事業名	令和6年度 公共下水道事業		
工事名	白須賀ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市 白須賀三丁目 地内		
名称	ケーブル配線・配管表（更新後）		
縮尺	NONE	設計年月日	令和5年 3月
工種	設計者		株式会社 自然環境コンサルタント
事業主体	四日市市	図面番号	PE-5



電気室壁名称

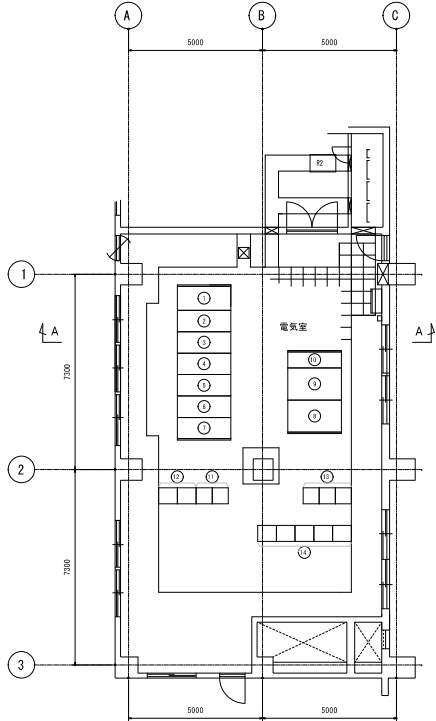
No.	壁記号	壁名称	備考
①	H-1	6KV引込壁	既設
②	H-2	6KV受電壁	"
③	H-3	買電自家発電切替・VT壁	"
④	H-4	動力変圧器1次/2PD壁	"
⑤	H-5	No.1雨水ポンプ壁	"
⑥	H-6	No.1雨水ポンプ用SC壁	"
⑦	H-7A	工場排水設備き電壁	"
⑧	L-1	動力変圧器壁	"
⑨	L-2	動力主幹壁	"
⑩	L-3	単相変圧器壁	"
⑪	CG-S	沈砂池設備CC	"
⑫	RY-S	沈砂池設備補助継電器壁	"
⑬	CG-P	主ポンプ補助設備CC	"
⑭	RY-P	主ポンプ補助設備補助継電器壁	"

操作室壁名称

No.	壁記号	壁名称	備考
①	KP	計装壁	既設
②	DK-RY	監視操作補助継電器壁	"
③	DK	中央監視操作点	"
④	CVC-1	蓄電池壁	"
⑤	CVC-2	充電器壁	"
⑥	CVC-3	インバータ壁	"
⑦	TM/TC-1	遠方監視装置壁	"
⑧	ITV	ITV装置	"
⑨	PC		"

ポンプ室壁名称

No.	壁記号	壁名称	備考
①	G1	発電機壁	既設
②	G2	自動発動壁	"
③	GDC	始動用直流電源壁	"
④		自家発電装置	"
⑤		排ガス消音器	"

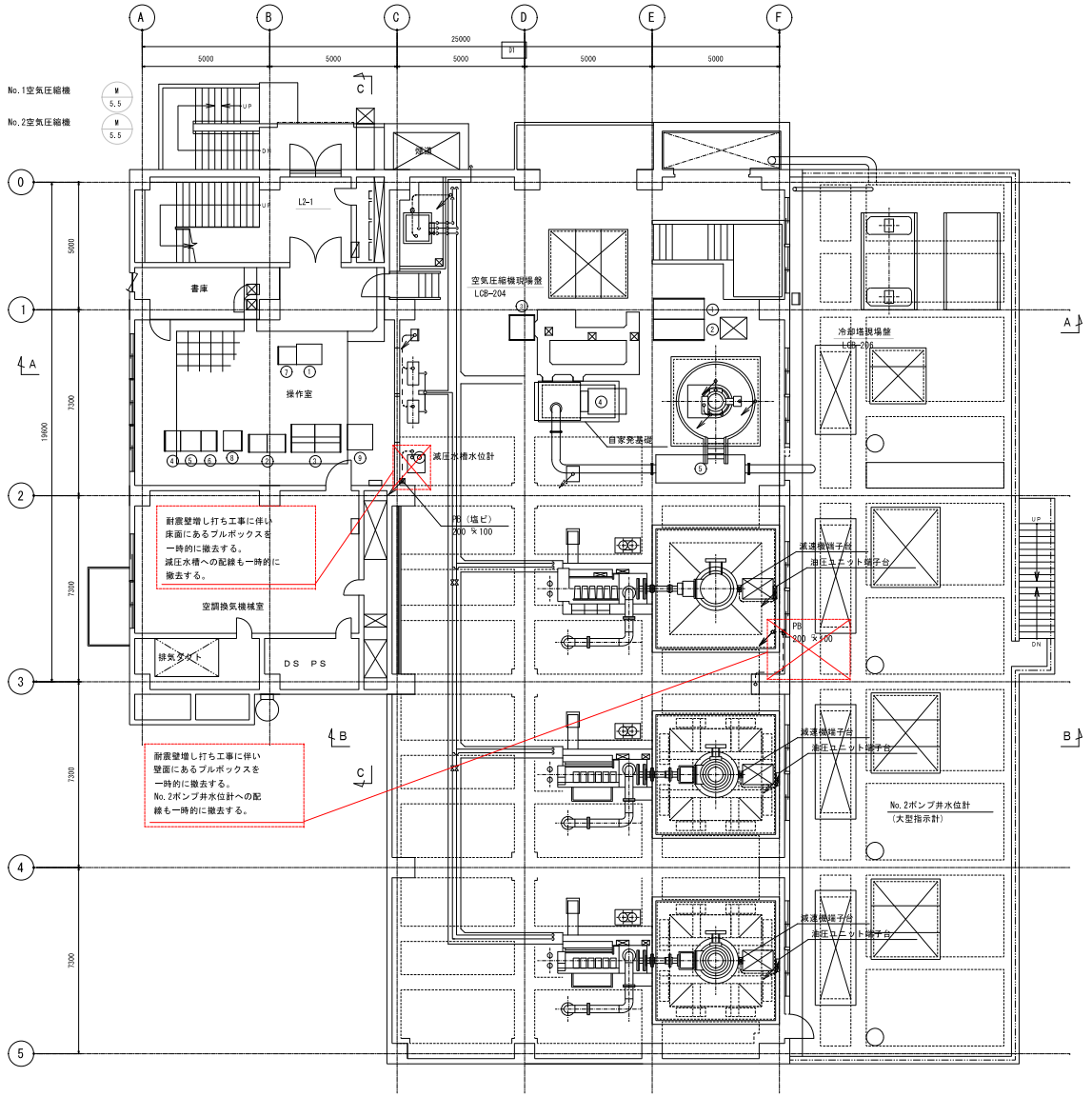


ポンプ棟3F平面図

S=1/100

U配線工事凡例 (各図に共通)

記号	名称
----	露出配管配線
----	床埋込配管配線
----	ケーブルラック内配線
----	ケーブルダクト・ビッド内配線
----	地中埋設配管配線
----	立上げ、素通し、引下げ



ポンプ棟2F平面図

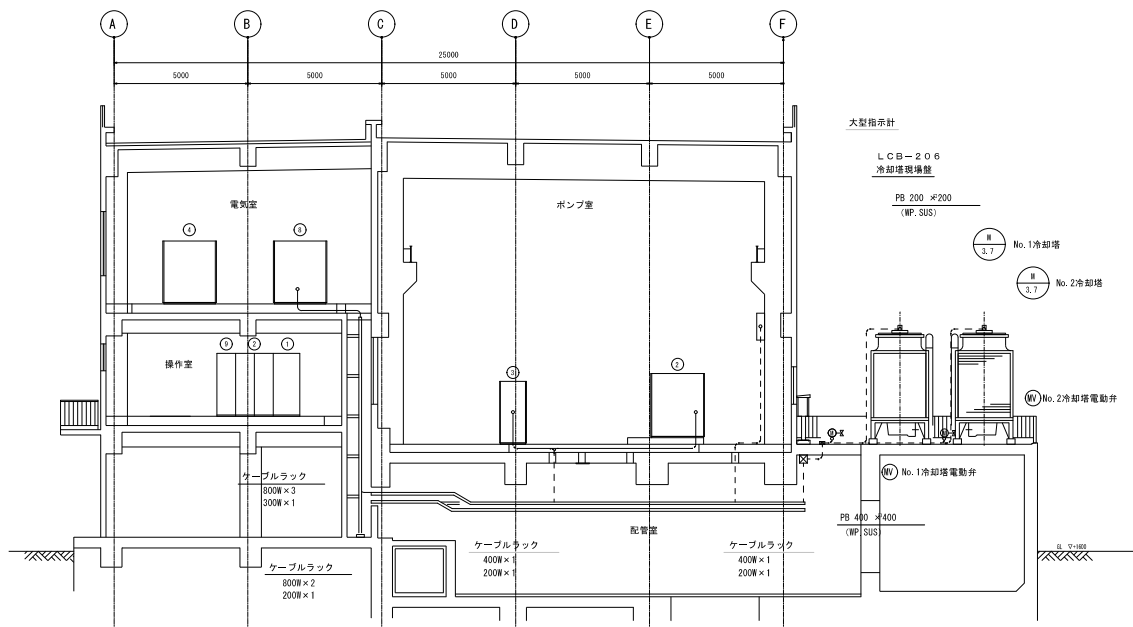
S=1/100

u 注 記

- 都は今回施工箇所を示す。
- その他は施工対象外を示す。

ケーブルNo.	ケーブル仕様	FROM (名称)	FROM (記号)	TO (名称)	TO (記号)	接続仕様	電線管仕様	備 考
W1016	EB-CCE 1.25sq-20c	主ポンプ補助設備補助継電器壁	Ry-P	No.1雨水ポンプ用減速機端子台			GP36	
W1017	EB-CCE 1.25sq-20c	主ポンプ補助設備補助継電器壁	Ry-P	No.2雨水ポンプ用減速機端子台			GP36	
W1018	EB-CCE 1.25sq-20c	主ポンプ補助設備補助継電器壁	Ry-P	No.3雨水ポンプ用減速機端子台			GP36	
W1019	EB-CCE 1.25sq-20c	主ポンプ補助設備補助継電器壁	Ry-P	No.4雨水ポンプ用減速機端子台			GP36	
W1020	EB-CCE 8sq-20c	主ポンプ補助設備コントロールセンター	GP-P	No.1空気圧縮機		12c-IE 5.5sq	GP28	
W1021	EB-CCE 8sq-20c	主ポンプ補助設備コントロールセンター	GP-P	No.2空気圧縮機		12c-IE 5.5sq	GP28	
W1022	EB-CCE 1.25sq-20c	主ポンプ補助設備補助継電器壁		減圧水機電圧 (3P)			GP28	

事業名	令和6年度 公共下水道事業
工事名	白須賀ポンプ場耐震補強工事
工事場所	四日市市 白須賀三丁目 地内
名称	配線図 (ポンプ棟3F平面図) (更新前)
縮尺	1/100
設計年月日	令和5年3月
工種	電気
設計者	株式会社 緑野建設コンサルタント
事業主体	四日市市
図面番号	PE-7

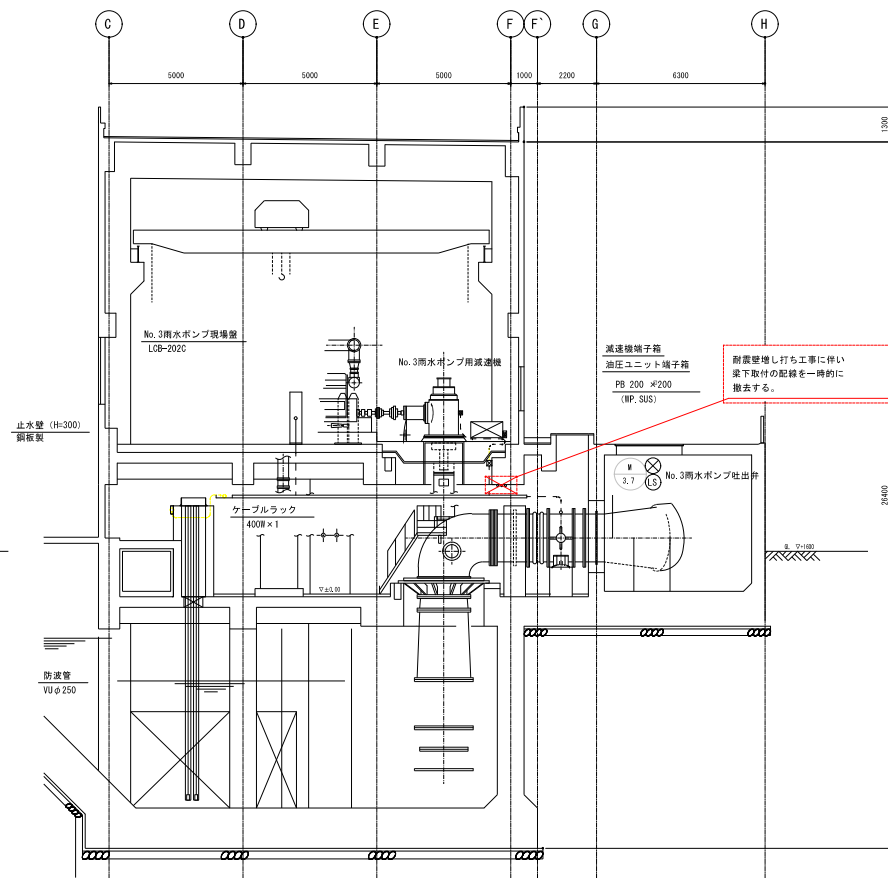


ポンプ棟AーA断面図

S=1/100

U 配線工事図凡例 (各図に共通)

記 号	名 称
----	露出配管配線
----	床埋込配管配線
-----	ケーブルラック内配線
-----	ケーブルダクト・ビッド内配線
-----	地中埋設配管配線
○/○	立上げ、素通し、引下げ



ポンプ棟BーB断面図

S=1/100

u 注 記

1. 部は今回施工箇所を示す。
2. その他は施工対象外を示す。

事業名	令和 6 年度 公共下水道事業		
工事名	白須賀ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市 白須賀三丁目 地内		
名称	配線図 (ポンプ棟B, 3F平面図) (更新前)		
縮尺	1/100	設計年月日	令和 5 年 3 月
工種	電 気	設計者	株式会社 緑野建設コンサルタント
事業主体	四日市市	図面番号	PE-8

ケーブルNo.	ケーブル仕様	20M(名称)	20M(記号)	T0(名称)	T0(記号)	建設線仕様	電線管仕様	備考
W1001	EH-CDE 1.25sq-0c	主ポンプ機械設備コントロールセンタ	CP-0	No.1雨水ポンプ吐出弁		EH-E 3.5sq	EP28	
W1002	EH-CDE 1.25sq-0c	主ポンプ機械設備補助配電装置	Ry-1	No.1雨水ポンプ吐出弁リミットスイッチ			EP28	
W1003	EH-CDE 1.25sq-0c	No.1雨水ポンプ設備操作盤	LOB-201A	No.1雨水ポンプ吐出弁開度			EP22	
W1004	EH-CDE 8sq-0c	主ポンプ機械設備コントロールセンタ	CP-0	No.2雨水ポンプ吐出弁		EH-E 3.5sq	EP28	
W1005	EH-CDE 1.25sq-0c	主ポンプ機械設備補助配電装置	Ry-0	No.2雨水ポンプ吐出弁リミットスイッチ			EP28	
W1006	EH-CDE 1.25sq-0c	No.2雨水ポンプ設備操作盤	LOB-201A	No.2雨水ポンプ吐出弁開度			EP22	
W1007	EH-CDE 8sq-0c	主ポンプ機械設備コントロールセンタ	CP-0	No.3雨水ポンプ吐出弁		EH-E 3.5sq	EP28	
W1008	EH-CDE 1.25sq-0c	主ポンプ機械設備補助配電装置	Ry-0	No.3雨水ポンプ吐出弁リミットスイッチ			EP28	
W1009	EH-CDE 1.25sq-0c	No.2雨水ポンプ設備操作盤	LOB-201C	No.2雨水ポンプ吐出弁開度			EP22	
W1010	EH-CDE 8sq-0c	主ポンプ機械設備コントロールセンタ	CP-0	No.4雨水ポンプ吐出弁		EH-E 3.5sq	EP28	
W1011	EH-CDE 1.25sq-0c	主ポンプ機械設備補助配電装置	Ry-0	No.4雨水ポンプ吐出弁リミットスイッチ			EP28	
W1012	EH-CDE 1.25sq-0c	No.2雨水ポンプ設備操作盤	LOB-201D	No.4雨水ポンプ吐出弁開度			EP22	
W1013	EH-CDE 3.5sq-0c	主ポンプ機械設備コントロールセンタ		No.1炭酸水ポンプ設備操作盤	LOB-207A	EH-E 3.5sq	EP00	
W1014	EH-CDE 3.5sq-0c	No.1雨水ポンプ設備操作盤	LOB-201A	No.1炭酸水ポンプ設備操作盤	LOB-207A			
W1015	EH-CDE 1.25sq-0c	主ポンプ機械設備補助配電装置		No.1炭酸水ポンプ設備操作盤	LOB-207A		EP06	
W1016	EH-CDE 1.25sq-0c	主ポンプ機械設備補助配電装置	Ry-0	No.1雨水ポンプ用減速機端子台			EP26	
W1017	EH-CDE 1.25sq-0c	主ポンプ機械設備補助配電装置	Ry-0	No.2雨水ポンプ用減速機端子台			EP26	
W1018	EH-CDE 1.25sq-0c	主ポンプ機械設備補助配電装置	Ry-0	No.3雨水ポンプ用減速機端子台			EP26	
W1019	EH-CDE 1.25sq-0c	主ポンプ機械設備補助配電装置	Ry-0	No.4雨水ポンプ用減速機端子台			EP26	
W1020	EH-CDE 8sq-0c	主ポンプ機械設備コントロールセンタ	CP-0	No.1空気を圧機機		EH-E 5.5sq	EP00	
W1021	EH-CDE 8sq-0c	主ポンプ機械設備コントロールセンタ	CP-0	No.2空気を圧機機		EH-E 5.5sq	EP20	
W1022	EH-CDE 1.25sq-0c	主ポンプ機械設備補助配電装置		減圧水轉電機 (3P)			EP02	

u 注 記	
1.	部は今回施工箇所を示す。

| | (一時撤去して元に位置に復旧すること) |
| 2. | その他は施工対象外を示す。 |

1.  部は今回施工箇所を示す。
(一時撤去して元に位置に復旧すること)
2. その他は施工対象外を示す。